

令和 3 年度

全学共通教育科目  
履修の手引

2021

大阪大学

## 目 次

◆目次	
◆はじめに	1
◆全学共通教育科目を履修するにあたって必ずすること	2
◆履修案内ページの閲覧方法について	3
◆年間スケジュール	4
◆学年暦	5
1. 大阪大学における教育課程の概要	
(1) 大阪大学の教育課程の目的	6
(2) 共通教育のカリキュラム	6
(3) 共通教育の実施方法	7
(4) 4学期制	7
(5) 授業時間・単位	7
(6) 共通教育の実施体制	7
2. 授業科目	
(1) 教養教育系科目	8
(2) 専門教育系科目	9
(3) 国際性涵養教育系科目のうち、マルチリンガル教育科目	9
3. 履修手続	
(1) 履修登録の原則とルールについて	12
(2) 履修登録の流れについて	13
(3) 履修登録を行うにあたって	13
4. 試験及び成績	
(1) 受験が認められない場合	14
(2) 筆記試験受験上の注意事項	14
(3) 不正行為と成績評価	15
(4) 追試験	16
(5) レポート提出	16
(6) 成績	16
(7) 成績結果の誤記入等に関する申立てについて	16
(8) グレード・ポイント・アベレージ (GPA) 制度について	17
(9) 大阪大学全学教育優秀賞について	17
5. 学習相談/サポートの体制について	18
6. 交通機関運休等の場合の授業の取扱について	19
7. 学生の諸手続について	
(1) 届と願	21
(2) 修学等に関する事	21
(3) 「授業・試験欠席届」について	22
(4) 証明書自動発行機に関する事	23
(5) 自転車通学 (駐輪場) に関する事	23
(6) 身体障がい等に関する事	23
(7) その他、学生生活に関する事	23
◆付 録	
1 全学共通教育科目に係る卒業要件単位数一覧表	24
2 全学共通教育科目 履修登録方法一覧表	26
3 全学共通教育科目 授業科目一覧表	28
4 学部毎 特定の科目に係る履修上の定め	45
5 1年次 履修計画表	49
6 1年次 春～夏学期 履修希望科目控	50
7 よくある質問	53

## はじめに

この「履修の手引」は、本学に入学したすべての学生が学修しなければならない「全学共通教育科目」とその履修方法及び履修手続等の全学部みなさんに共通する事項について簡潔に説明したものです。

本学の授業科目は、主に「教養教育系科目」、「専門教育系科目」及び「国際性涵養教育系科目」の三本柱から構成されています。「全学共通教育科目」は、その三本柱のうち、

- 「教養教育系科目」の柱の中の「学問への扉」、「アドヴァンスト・セミナー」、「基盤教養教育科目」、「高度教養教育科目」のうち全学教育推進機構が開講するもの、「情報教育科目」及び「健康・スポーツ教育科目」
- 「専門教育系科目」の柱の中の「専門基礎教育科目」
- 「国際性涵養教育系科目」の柱の中の「マルチリンガル教育科目」

をまとめて指しています。2019年4月、本学はカリキュラムの大幅改革を行いました。この三本柱の縦型教育モデルもそのうちの一つです。そのため、みなさん2021年度入学者向けのカリキュラムは、2018年度以前の入学者向けのものとは大きく異なりますので、充分注意してください。

この手引は、学生のみなさんが主として入学当初から2年次の夏学期にわたって学修することになっている「全学共通教育科目」について、適切な履修計画を立てるために作成されたものですので、熟読し活用してください。本学における教育課程や全学共通教育のカリキュラムの具体的内容は、この手引のP.6以下において述べられています。また別に作成されている各科目のシラバス等も参考にしてください。

大学における学修は、高等学校までの勉強とは幾つかの点で異なっています。第一は、大学の教育課程では、学生のみなさんの主体的な学修が重視され、授業時間に加えて自ら学修することが課せられていることです。第二は、低学年で学術の基本・基礎を築き、高学年で深化・発展させるという点です。第三は、異質な価値観と文化、言語について学修して、人としての幅を拓げ、「教養」、「デザイン力」、「国際性」のすべてを兼ね備えた、社会人としての教養と専門の裾野を豊かにすることです。

本学は、学生のみなさんの主体的な学修を支援するために、入学時の学部別履修指導を始め、適宜学科によるガイダンスを行い、ガイダンス担当教員やクラス担任教員が履修上の相談に対応しています。また、図書館は予習・復習や主体的な学修のための環境を提供しています。この「履修の手引」、各科目のシラバスあるいは各学部が作成した「学生便覧」などをよく読み、多種多様な授業科目から適切な科目を選択して、履修手続を確実に行ってください。

本学は学生のみなさんが入学時の初心を忘れず、主体的な学修を通じて人として社会人としての高度な教養を培うと共に、専門領域の学問の基礎を身に付け、将来の日本を担う深く豊かな教養を持った高度知識人となることを期待して止みません。



# 履修案内ページの閲覧方法について

この冊子『履修の手引』の内容をよく読んで、全学共通教育科目のカリキュラムや履修方法について理解したら、新入生向けページにアクセスし、入学予定学部の履修案内ページ掲載の「卒業要件単位数」や「時間割表」、「シラバス」を参照しながら、履修したい科目を検討しましょう。

## ①新入生向けページ



## ②学部の履修案内ページ



クリックすると該当する科目区分の一覧が表示されます。時間割コードをクリックして、必ずシラバスを確認してください。

## ③時間割表

No.	必修科目		選択科目			その他
	日	水	金	木	金	
1	憲法・政治学、倫理・道徳、現代社会、英語(英・米)	基礎学Ⅰ(英)	基礎学Ⅱ(英)	基礎学Ⅲ(英)	基礎学Ⅳ(英)	現代学Ⅰ(英)
2	現代学Ⅱ(英)	現代学Ⅲ(英)	現代学Ⅳ(英)	現代学Ⅴ(英)	現代学Ⅵ(英)	現代学Ⅶ(英)
3	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)
4	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)
5	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)	現代学Ⅷ(英)

## ④履修手続きページ



履修登録をはじめの前に  
履修登録マニュアル  
もあわせてチェックしましょう。

# 令和3年度 全学共通教育 年間スケジュール

学期	期 日	行 事		
		セメスター科目スケジュール	ターム科目スケジュール	
春学期	4月 2日(金)	新入生学部別履修指導・学生証交付		
		履修希望(抽選)登録 ※春～夏学期開講科目 (4月2日～4月5日13時)	履修希望(抽選)登録 ※春学期、夏学期開講科目 (4月2日～4月5日13時)	
	5日(月)	新入生定期健康診断(4月5日,4月7日～4月8日)		
	6日(火)	入学式		
	7日(水)	履修希望(抽選)登録結果閲覧開始(4月7日17時) ※春～夏学期開講科目		
		履修追加(先着順)登録 ※春～夏学期開講科目 (4月8日9時30分～4月16日13時)	履修追加(先着順)登録 ※春学期、夏学期開講科目 (4月8日9時30分～4月16日13時)	
	9日(金)	春～夏学期授業開始(～9月30日)		
	23日(金)	履修取消期間 ※春～夏学期開講科目 (4月23日9時30分～4月29日16時30分)		
		春学期授業開始(～6月10日)		
	29日(木)	履修取消期間 ※春学期開講科目 (4月23日9時30分～4月29日16時30分)		
		いちよう祭準備		
	30日(金)	} いちよう祭(4月30日・5月1日) 大阪大学記念日		
5月 1日(土)				いちよう祭片付け
	2日(日)			
6月 4日(金)				
	～ 10日(木)			試験実施期間 ※春学期開講科目 (6月4日～6月10日)
6月 11日(金)				
	夏学期授業開始(6月11日～9月30日)			
	変更登録期間 ※夏学期開講科目 (6月11日9時30分～6月17日16時30分)			
	履修取消期間 ※夏学期開講科目 (6月25日9時30分～7月1日16時30分)			
25日(金)				
	8月 2日(月)	試験実施期間 ※春～夏学期開講科目 (8/2～8/4, 8/6, 8/10)8月10日は木曜日の振替試験実施日		
～ 10日(火)		試験実施期間 ※夏学期開講科目 (8/2～8/4, 8/6, 8/10)8月10日は木曜日の振替試験実施日		
	11日(水)	夏季休業(～9月30日)		
9月 1日(水)	成績閲覧開始 ※春～夏学期開講科目			
	成績閲覧開始 ※春学期、夏学期開講科目			
2日(木)	履修希望(抽選)登録 ※秋～冬学期開講科目 (9月2日～9月14日13時)			
	履修希望(抽選)登録 ※秋学期、冬学期開講科目 (9月2日～9月14日13時)			
24日(金)	履修希望(抽選)登録結果閲覧開始(9月24日9時) ※秋～冬学期開講科目			
	履修希望(抽選)登録結果閲覧開始(9月24日9時) ※秋学期、冬学期開講科目			
	履修追加(先着順)登録 ※秋～冬学期開講科目 (9月24日9時30分～10月8日13時00分)			
	履修追加(先着順)登録 ※秋学期、冬学期開講科目 (9月24日9時30分～10月8日13時00分)			
秋学期	10月 1日(金)	秋～冬学期授業開始(～3月31日)		
		秋学期授業開始(～12月2日)		
	15日(金)	履修取消期間 ※秋～冬学期開講科目 (10月15日9時30分～10月21日16時30分)		
		履修取消期間 ※秋学期開講科目 (10月15日9時30分～10月21日16時30分)		
	11月 4日(木)	大学祭準備(授業休業)		
		} 大学祭(5日～7日)		
5日(金)	大学祭後片付け(授業休業)			
			7日(日)	
8日(月)				
	26日(金)			
12月 2日(木)				試験実施期間 ※秋学期開講科目 (11月26日～12月2日)
	3日(金)			
冬学期授業開始(12月3日～3月31日)				
変更登録期間 ※冬学期開講科目 (12月3日9時30分～12月9日16時30分)				
履修取消期間 ※冬学期開講科目 (12月17日9時30分～12月23日16時30分)				
12月 17日(金)				
28日(火)	} 冬季休業			
			1月 3日(月)	
2月 1日(火)	試験実施期間 ※秋～冬学期開講科目 (2月1日～2月7日)			
	試験実施期間 ※冬学期開講科目 (2月1日～2月7日)			
3月 1日(火)	成績閲覧開始 ※秋～冬学期開講科目			
	成績閲覧開始 ※秋学期、冬学期開講科目			
4日(金)	在学生履修希望(抽選)登録開始(～18日13時)			

(注) 授業開始日等、各学部の専門科目の日程と一致していないことがありますのでご注意ください。

# 令和3年度 全学共通教育 学年暦

- 春学期  
授業開講期間
- 夏学期  
授業開講期間
- 秋学期  
授業開講期間
- 冬学期  
授業開講期間

- 数字 ターム科目  
授業日
- 数字 ターム科目  
試験日
- 数字 セメスター科目  
授業日
- 数字 セメスター科目  
試験日

月/曜	日	月	火	水	木	金	土	
4月					1	2	3	
		履修希望登録 健康診断	履修希望登録 健康診断	入学式	抽選結果発表 健康診断	先着順登録 健康診断	①①	履修希望登録
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	①① 12	①① 13	①① 14	①① 15	②② 16	③③ 17	
	18	②② 19	②② 20	②② 21	②② 22	③③ 23	24	
	25	③③ 26	③③ 27	③③ 28	いちょう祭準備 29	いちょう祭 30		
5月							記念式典等 いちょう祭 1	
		いちょう祭 片付け 2			③③ 6	④④ 7	8	
	9	④④ 10	④④ 11	④④ 12	④④ 13	⑤⑤ 14	15	
	16	⑤⑤ 17	⑤⑤ 18	⑤⑤ 19	⑤⑤ 20	⑥⑥ 21	22	
	23	⑥⑥ 24	⑥⑥ 25	⑥⑥ 26	⑥⑥ 27	⑦⑦ 28	29	
		⑦⑦ 31						
	30							
6月			⑦⑦ 1	⑦⑦ 2	⑦⑦ 3	⑧試⑧ 4	5	
	6	⑧試⑧ 7	⑧試⑧ 8	⑧試⑧ 9	⑧試⑧ 10	①⑨ 11	12	
	13	①⑨ 14	①⑨ 15	①⑨ 16	①⑨ 17	②⑩ 18	19	
	20	②⑩ 21	②⑩ 22	②⑩ 23	②⑩ 24	③⑪ 25	26	
	27	③⑪ 28	③⑪ 29	③⑪ 30				
					③⑪ 1	④⑫ 2	3	
7月	4	④⑫ 5	④⑫ 6	④⑫ 7	④⑫ 8	⑤⑬ 9	10	
	11	⑤⑬ 12	⑤⑬ 13	⑤⑬ 14	⑤⑬ 15	⑥⑭ 16	17	
	18	⑥⑭ 19	⑥⑭ 20	⑥⑭ 21	⑥⑭ 22	⑦⑮ 23	24	
	25	⑦⑮ 26	⑦⑮ 27	⑦⑮ 28	⑥⑭ 29	⑦⑮ 30	31	
	8月10日は木曜日の振替試験実施日							
		⑧試⑧ 1	⑧試⑧ 2	⑧試⑧ 3	⑦⑮ 4	⑧試⑧ 5	⑧試⑧ 6	7
8月	8	9	⑧試⑧ 10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					
				1	2	3	4	
9月	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30			

月/曜	日	月	火	水	木	金	土	
10月						①① 1	2	
		①① 3	①① 4	①① 5	①① 6	①① 7	②② 8	
	10	②② 11	②② 12	②② 13	②② 14	③③ 15	16	
	17	③③ 18	③③ 19	③③ 20	③③ 21	④④ 22	23	
	24	④④ 25	④④ 26	④④ 27	④④ 28	⑤⑤ 29	30	
	31							
			⑤⑤ 1	⑤⑤ 2	3	大学祭準備 4	大学祭 5	大学祭 6
11月	7	大学祭 8	大学祭片付け 9	⑥⑥ 10	⑤⑤ 11	⑥⑥ 12	13	
	14	⑥⑥ 15	⑦⑦ 16	⑥⑥ 17	⑥⑥ 18	⑦⑦ 19	20	
	21	⑦⑦ 22	23	⑦⑦ 24	⑦⑦ 25	⑧試⑧ 26	27	
	28	⑧試⑧ 29	⑧試⑧ 30					
					⑧試⑧ 1	⑧試⑧ 2	①⑨ 3	4
	5	①⑨ 6	①⑨ 7	①⑨ 8	①⑨ 9	②⑩ 10	11	
	12	②⑩ 13	②⑩ 14	②⑩ 15	②⑩ 16	③⑪ 17	18	
12月	19	③⑪ 20	③⑪ 21	③⑪ 22	③⑪ 23	④⑫ 24	25	
	26	④⑫ 27	28	29	30	31		
	2022年							
	2	3	④⑫ 4	④⑫ 5	④⑫ 6	⑤⑬ 7	8	
	9	10	⑤⑬ 11	⑤⑬ 12	⑤⑬ 13	⑥⑭ 14	15	
	16	⑤⑬ 17	⑥⑭ 18	⑥⑭ 19	⑥⑭ 20	⑥⑭ 21	22	
	23	⑥⑭ 24	⑦⑮ 25	⑦⑮ 26	⑦⑮ 27	⑦⑮ 28	29	
30	⑦⑮ 31							
2月			⑧試⑧ 1	⑧試⑧ 2	⑧試⑧ 3	⑧試⑧ 4	5	
	6	⑧試⑧ 7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28						
				1	2	3	4	5
3月	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28						
	20	21	22	23	24	25	26	

- . . . 土・日・祝日及び休業日又は授業未実施期間を示す (緑字は祝日)。
- . . . 大学行事又は入試準備のための臨時的授業未実施日 (予定) を示す。

春学期：4月 9日～6月10日    秋学期：10月1日～12月2日  
 夏学期：6月11日～8月10日    冬学期：12月3日～ 2月7日

# 1. 大阪大学における教育課程の概要

## (1) 大阪大学の教育課程の目的

今日の社会では、国際化、高度情報化、価値観の多様化が急速に進んでいます。大学に学ぶみなさんは、こうした社会の変化や技術の進歩に対して柔軟に対応する能力を身につけなければなりません。このために大阪大学は、「教養」「デザイン力」「国際性」をそなえた人材の養成を教育目標としてあげています。そして、この目標達成のための具体的なカリキュラムを教育課程といいます。

大阪大学の教育課程は、教養教育、専門教育及び国際性涵養教育に大きく分けられます。全学共通教育は、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を育むことを目的にしています。したがって、各学部が設定する4年ないし6年間の一貫した教育の中で、教養教育、専門教育及び国際性涵養教育が相補う形で行われることが、大阪大学の教育課程の基本的な理念となっています。

## (2) 共通教育のカリキュラム

本学の授業科目は、下表に示す「教養教育系科目」「専門教育系科目」「国際性涵養教育系科目」及び「教職教育科目」からなっています。みなさんが2年次の夏学期までに主に学修するのが、点線で囲まれた「全学共通教育科目」です。

これらの科目の概要は、次章の「2. 授業科目」で説明されています。

### 教養教育系科目

学問への扉

アドヴァンスト・セミナー

基盤教養教育科目

高度教養教育科目（※1）

情報教育科目

健康・スポーツ教育科目

コミュニケーションデザイン科目

### 専門教育系科目

専門基礎教育科目

専門教育科目

### 国際性涵養教育系科目

マルチリンガル教育科目  
（※2）

高度国際性涵養教育科目

国際交流科目

グローバルイニシアティブ科目

### 教職教育科目

人文科学系科目  
社会科学系科目  
自然科学系科目  
総合型科目

全学共通教育科目

第1外国語  
第2外国語  
選択外国語  
グローバル理解

（※1）高度教養教育科目については、一部の科目を全学教育推進機構が全学共通教育科目として開講、運営されます。

（※2）マルチリンガル教育科目については、マルチリンガル教育センターが開講部局となり、運営されます。



### (3) 共通教育の実施方法

大学における学修は、教室で行われる授業はもちろん、教室外学修も重要です。学生の自発的な学修を促すために、セミナー等の少人数の授業や演習・実験といった形式の授業も採用されています。コンピュータシステム（eラーニングを含む。）を用いた授業もあります。

教育効果への配慮から、各科目の受講者数を制限しており、ほとんどの科目はその調整を授業開始前に行っています。このため、学期ごとに履修を希望する科目の届け出を早い時期に行います。新入生にとっては入学早々の手続きのため、その方法等に戸惑いがあるかも知れませんが、この「履修の手引」並びに各科目のシラバス等をよく読んで行ってください。

参考：全学教育推進機構 HP 新入生向けページ <http://www.celas.osaka-u.ac.jp/fresher/>

### (4) 4学期制

大阪大学では、1年間で4つの学期に区分し、1学期あたり8週の授業実施期間を設け、各学期で授業を完結させることができる柔軟な制度を取ります。学期の区分の名称は、以下のとおりです。

- ・春学期：4月1日～6月中旬
- ・夏学期：6月中旬～9月30日
- ・秋学期：10月1日～12月初旬
- ・冬学期：12月初旬～3月31日

「全学共通教育科目」においては、多くの科目は2つの学期を通して学修する、「 Semester科目（半年単位の科目）」となっており、「春～夏学期」「秋～冬学期」と表記されます。

2年次の夏学期までの1年半は、共通教育に重点が置かれ、「全学共通教育科目」が主に開講されています。

### (5) 授業時間・単位

授業時間は次のとおりです。ほとんどの科目は時限単位で開講されますが、実験科目は3時限連続となります。

第1時限 8：50～ 10：20	休 み	第2時限 10：30～ 12：00	休 み	第3時限 13：30～ 15：00	休 み	第4時限 15：10～ 16：40	休 み	第5時限 16：50～ 18：20	休 み	第6時限 18：30～ 20：00
------------------------	--------	-------------------------	--------	-------------------------	--------	-------------------------	--------	-------------------------	--------	-------------------------

(2021年1月現在の授業時間です。今後、変更の可能性があります。)

学修を数量的に示すために「単位」という言葉が用いられます。標準として45時間の学修を必要とする内容をもって構成される授業科目に1単位が与えられ、この45時間は大学の教室等で行う授業の部分と、教室外の自宅等で行う部分との和です。

全学共通教育科目で1単位を修得する際に必要となる授業時間は下表のとおりです。春～夏学期、秋～冬学期それぞれでは通常15回（週）の授業を行いますので、1時限分（2時間とみなします）の授業を15回（週）学修すると30時間となり、教室外学修の時間を加えて教養教育系科目等（①）では2単位、マルチリンガル教育科目等（②）は1単位と計算されます。実験科目（③）は、授業時間45時間で1単位です。

	1単位修得するのに必要な授業時間	全学共通教育科目
①	15時間	学問への扉、アドヴァンスト・セミナー、基盤教養教育科目、高度教養教育科目、情報教育科目、専門基礎教育科目、グローバル理解
②	30時間	第1外国語、第2外国語、選択外国語、健康・スポーツ教育科目、専門基礎教育科目のうち数学の演義科目
③	45時間	専門基礎教育科目の実験科目、基盤教養教育科目のうち「心理学基礎実験」

### (6) 共通教育の実施体制

共通教育は、全学の教員が分担することによって実施され、そのための運営組織として全学教育推進機構及びマルチリンガル教育センターが設けられています。2年次の夏学期までの授業は主として豊中キャンパスの全学教育推進機構の講義棟で行われます。建物の配置は、全学教育推進機構HPを参照してください。

## 2. 授 業 科 目

全学共通教育科目は、(1) 教養教育系科目、(2) 専門教育系科目、(3) 国際性涵養教育系科目に区分され、それぞれはさらにいくつかの科目群に細区分されます。本項では、これらの科目区分について、その概要を説明します。

### (1) 教養教育系科目

#### 学問への扉 (1年次 春～夏学期)

大阪大学で「学び」をスタートさせるみなさんには、1年次の初めに、高校までの学びから、より主体的で創造的な学びへの転換が必要となります。そこで、1年次の春～夏学期に、「課題・文献など一つのテーマや内容をもとに自ら考え、掘り下げる習慣を身に付け、学問への扉を開けるために必須のアカデミック・スキルズ等を学ぶ基礎科目」として「学問への扉」(愛称「マチカネゼミ」)を設定しています。興味ある内容を学ぶ中で、異分野の学生とも接し、異なったものの見方や課題解決の道筋を意識する場とすることが、本科目の目的です。また、この科目においては、レポートの添削指導やプレゼンテーションの指導などを行うことによって、学生の発信力を高めることを目指すため、少人数クラスによる、新入生全員が受講する科目としています。

◆ 「学問への扉」の履修により期待される効果

- ① 研究者との直接対話によって喚起される学びへの新たな意識
- ② 専門とする分野以外の研究に触れることによる専門分野を見る視野の広がり
- ③ 入学直後に他学部の学生、他分野の先生と密に接する体験が育む分野の壁を超える学修意欲の向上

専門性、教養、国際性、さらにそれを統合するデザイン力を備えた人材を育成する教育の出発点として、学問的探求活動を通じて問題の本質を見極め解決のための手だてを考える教育を行い、大阪大学での学び(「教養教育」「専門教育」「国際性涵養教育」)の導入科目として位置づけます。

※ 障がい等により上記科目の履修が困難な場合には、全学教育推進機構等事務部教務係に申し出てください。

#### アドヴァンスト・セミナー (1年次 秋学期 以降)

「学問への扉」を履修した学生を対象とし、1年次秋学期以降に開講される科目で、フィールドワーク、インターンシップやセミナー等の形態をとる、学生の主体的な学修を重視したアクティビティ科目です。

#### 基盤教養教育科目 (1年次 春学期 以降)

大阪大学生として相応しい知性を身につけるための教育課程の始まりに位置づけられる科目です。学問の先端で生み出されている研究成果を専門以外の学生にも分かりやすく講じ、知的営みの魅力や新たな知の地平を切り開く感動を伝え、教養を広げるとともに、知的世界に誘うことを目的としています。また、現代社会が抱える諸問題に関心を抱かせ、それらの解決に対する意欲を湧かせるとともに、そのために必要となる基礎的素養、知識、能力の修得を目的とします。

「基盤教養教育科目」の区分として、「人文科学系科目」「社会科学系科目」「自然科学系科目」及び「総合型科目」が設けられています。

学部によって、基盤教養教育科目のうち各学部の専門に関連する科目を「専門教育科目」として指定されている場合があります。

## 高度教養教育科目（2年次 秋学期 以降）

専門分野以外にも視野を広げ、「複眼的」かつ「俯瞰的」な視点を持った人材を育てること、及び修得した知識を社会における課題解決に応用できる能力（高度汎用力）を養成することを目的としている科目で、2年次秋学期以降の配当科目です。全学共通教育科目としては、

- ・全学教育推進機構が開講する「高度教養教育科目」
- ・全学教育推進機構が運営する「専門基礎教育科目」

が該当します（※1）。

## 情報教育科目（1年次 春学期 ※学部によっては異なる学期で実施する場合があります。）

高度情報化社会の構成員としての大学生にふさわしい、情報社会・情報科学の原理、本質、価値、可能性、限界等を理解し、これを使いこなす対応力を修得することを目的とします。コンピュータ端末の実習室における対面学修とeラーニング教材を利用したオンライン学修により構成されています。

## 健康・スポーツ教育科目（1年次 春～夏学期 及び 秋～冬学期）

健康と体力、そして身体運動に関する幅広い知識を修得し、自主的、合理的に生涯にわたって自身の健康管理と運動、スポーツ活動を行うための教養と実践力を学ぶことを目的として開講するものです。必修科目「スポーツ実習A」、選択科目の「健康科学」「健康科学実習A」「スポーツ科学」の4科目から構成されており、学部共通で必修科目と選択科目をセットで履修するようにコース設定しています。コースの概要は、全学教育推進機構HPの新入生向けページを確認してください。

- ※ 障がい等により上記科目の履修が困難な場合は、所属学部の教務担当係に申し出てください。
- ※ 年度によっては、文部科学省依頼の「体力・運動能力調査」を実施する場合があります。

## （2）専門教育系科目

### 専門基礎教育科目

各学部が規定する専門教育系科目として、専門分野の基盤となる学問を学びます。「統計学」「数学」「物理学」「化学」「生物学」「地学」「図学」の各分野からなっています。

## （3）国際性涵養教育系科目のうち、マルチリンガル教育科目

マルチリンガル教育科目は、以下の2つの目標を設定しています。

- ・グローバル化する社会に対応し国際的に活躍できる英語力を有する人材の育成
- ・多言語・多文化への深い理解にもとづく国際的視野を持った人材の育成

この目標のもと、第1外国語、第2外国語、選択外国語、グローバル理解の科目区分を設けています。

### 第1外国語

共通教材によるeラーニング授業により基盤となる英語スキルを習得させると同時に、少人数による対面式授業において、様々な内容や課題、活動を通じて学生が出来る限り多くの技能を総合的に涵養し、アカデミック・イングリッシュの能力を強化します。

#### 総合英語

「読む・書く・話す・聞く」のうち1つのみではなく、様々な内容や課題、活動を通じて出来る限り多くの技能を総合的に学ぶことを目指す対面授業で、下記のサブカテゴリに分類されます。

※1 その他、コミュニケーションデザイン科目、各学部が開講する専門教育科目（専門教育及び国際性涵養教育両方の性質を持つものも含む）のうち他学部学生の履修を認める科目、各学部が開講する高度教養教育科目のうち他学部学生の履修を認める科目も高度教養教育科目として履修可能ですが、手続はそれぞれの定めに従ってください。

外国語学部 以 外	Project-based English	学生個々の興味・関心をもとに個人又はグループで独自に設定したリサーチに取り組み、その成果を発表・議論する学生中心型科目。
	Content-based English	各教員が設定する学術分野の内容を、英語での講義に加え、英語でのディスカッション、ディベート、プレゼンテーションを行う発信型科目。
	Liberal Arts & Sciences	リーディングやリスニング活動を通じて社会問題や言語文化、芸術、科学などの様々な問題や論説を理解し、さらに自らの意見を主張し議論することを学ぶ科目。
	Performance Workshop	英語のアウトプット能力（スピーキング又はライティング）の育成に特化した科目。英語で行われ、言語能力の育成に焦点を据える。
	Academic Skills	各教員が英語での学術活動に必要な基礎的なアカデミックスキルを設定し、講義と演習を通して育成する科目。
外国語学部	総合英語 I ～ IV	相当レベルのリーディング、ライティング、リスニング、プレゼンテーション技能を有機的に連動させ、高度の英語運用能力を総合的に養成する。

### 実践英語

全学共通教材を使った e ラーニング授業 で、前項「総合英語」が目指す高度な学術英語スキルの語学力的基盤を養成します。さらに TOEFL、IELTS、TOEIC など、海外での学術活動の前提となる各種外部試験において高得点を取る能力を養成し、全学生の国際化対応能力を高度化することも目的としています。TOEFL-ITP の 550 点に相当する基盤的英語力の習得を目標とします。

開講する授業は、「実践英語 (e-learning 入門)」及び「実践英語 (e-learning 応用)」の 2 授業とし、いずれも学修者が各自のライフスタイルに合わせた時間・場所を選び、PC やモバイルからサーバー上の教材にアクセスし自律的に学修を進める形をとります。

また、専門の担当者が学修管理システムなどを通してきめ細かな学修サポートを提供し、学修上のつまずきや疑問に対応します。

## 第 2 外国語

第 2 外国語としては 7 種類、留学生に対しては日本語を加えた 8 種類の外国語が開講されています。英語以外の外国語の初級レベルと中級レベル（留学生対象日本語は超上級レベル）の学修を通じて、母語や英語を相対化し、多角的視野を持って国際化に対応できる言語運用能力とコミュニケーション力を涵養することを目標とします。学生のみなさんは各学部の指示に従い、これらの外国語の中から 1 つを選び、同じ外国語で必要単位数をそろえなければなりません。

	初級	中級	上級
ドイツ語	発音及び基本的な文法事項を習得することを目的としています。1 年次の春～夏	各外国語の中級は初級で学んだことより、より高度な文法事項を習得し、読解力を養成することを目的としており、2 年次の春～夏学期及び秋～冬学期に開かれています。	ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語については、各外国語の能力をよりいっそう高めたい学生のみなさんのためにさらに上級の科目が用意されています。
フランス語	学期で受講する科目は各外国語の初級 I		
ロシア語	であり、この科目は各外国語を初めて学ぶ学生のみなさんのための入門クラスになっています。1 年次の秋～冬学期で受		
中国語	講する各外国語の初級 II は、1 年次の春～夏学期の初級 I の続きとなっております、		
朝鮮語	基本的な文法事項を学修していきます。このように 1 年間通して学修することに		

スペイン語	よって、将来の文献講読やコミュニケーションのためのしっかりとした基礎をつくることが初級Ⅰ・Ⅱの目標です。		
イタリア語			
日本語 ※留学生のみ	全学部対象に2科目（「総合日本語」と「専門日本語」）が計週3～5コマ（学期によって異なる）開講されています。学部指定はありませんので、授業内容及び各自の時間割などを勘案して、原則として春～夏学期及び秋～冬学期にそれぞれ1科目を選んで履修します。		

### 選択外国語（文学部・人間科学部のみ対象）

第1外国語（英語）、第2外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語）、第3外国語（ギリシャ語、ラテン語）の中から春～夏学期及び秋～冬学期にそれぞれ1言語を選んで履修します。必ずしも同一の言語で必要単位数をそろえる必要はありません。

英語 ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語	<p>英語選択：各年次・学期では、特色ある授業が複数開講されます。各科目のシラバスを参考にして、履修してください。</p> <p>ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ選択、フランス語初級Ⅰ・Ⅱ選択、ロシア語初級Ⅰ・Ⅱ選択、中国語初級Ⅰ・Ⅱ選択はそれぞれ同一の第2外国語の初級Ⅰ・Ⅱを履修していることを前提としたやや高度な言語運用能力の養成をはかるものです。</p> <p>2年次の各学期に開講される選択外国語は、いずれも1年次の各学期の外国語の内容をより高度化したものです。従って、1年次の各学期の外国語を履修していることを前提とします。</p>
ギリシャ語 ラテン語	<p>選択外国語には、第3外国語のギリシャ語、ラテン語も開講されています。</p> <p>これら2言語は1週に1回の授業で、文字・発音及び基本的な文法事項を基礎として、より高度な言語能力を習得することを主な目的としています。</p> <p>1年次の春～夏学期で受講する科目はいずれも初級Ⅰ選択であり、これらの科目はギリシャ語とラテン語の入門クラスになっています。1年次の秋～冬学期で受講するのは同じ外国語の初級Ⅱ選択であり、1年次の春～夏学期の初級Ⅰ選択の続きになっており、基本的な文法事項等をさらに学修していきます。このように1年間通して学修することによって、将来の文献講読のためのしっかりとした基礎をつくるのが、初級Ⅰ選択・初級Ⅱ選択の目標です。さらに、2年次の各学期で開かれている中級Ⅲ選択・中級Ⅳ選択では、初級Ⅰ選択・初級Ⅱ選択で学んだことを基礎にして、さらに高度な文法事項を学ぶとともに、文献講読に進みます。</p>

### グローバル理解

学生が第2外国語の学修によって身に着けた語学力を活かしつつ、さらに語学力を伸ばしながら、背景となる文化理解を深め、世界の多様な歴史、文化、社会、科学等についてのグローバルな理解の促進と豊かな教養にもとづくコミュニケーション力の育成を目指します。学生のみなさんは、第2外国語で選択した言語にて必要単位数をそろえなければなりません。

### 3. 履修手続

全学共通教育科目の履修に当たっては、定められた手続に従って履修科目の登録（履修登録）を正確に行わなければならない。履修登録とは、授業を受講する意思があることを示すもので、その授業を受講し、単位を修得するための条件となります。以下にて、履修登録の手続とルールについて説明します。

#### (1) 履修登録の原則とルールについて

いま自分が履修できる授業科目とは？

履修登録にあたっては、履修したい授業を決定しなければなりません。「時間割表」のとおり、特に1年次のうちは、卒業要件単位に基づき、ある程度履修できる授業やクラスは決まっています。各自が所属する学部・学科の各曜日時限に記載されている科目が、履修が可能又は必ず履修しなければならない科目です。これらの科目を「正規配当」科目と呼び、特に1年次における履修登録とは、このようにその年次・学期に「配当されている」科目のうち、どの科目を履修するのか、また、クラスを選択できる場合にはどのクラスを選ぶのか等の希望を表明するという手続になります。時間割表は、P.3「履修案内ページの閲覧方法について」を参考の上、全学教育推進機構HPの新入生向けページにて確認してください。

履修登録方法は？

履修登録は、所定の期間内に、原則としてKOAN（学務情報システム）を介して行います。なお、必修科目であれば、自動登録されているなど、自身による登録を要しない授業科目もあります。詳細は「付録2 履修登録方法一覧表（P.26）」をご覧ください。

修得できなかった授業科目を再度履修する場合は？

1年次秋学期以降で、過去の年次・学期で履修したが修得できなかった科目を再度履修する場合、あるいは、興味があったが時間割の都合上履修できなかった科目を学年が上がってから履修する場合等を合わせて「再履修等」と言います。「再履修等」における主な留意点は、以下のとおりです。

① 再履修等の場合、原則として、他学部配当の同一名称科目を履修可能です。

再履修等の場合、自分の学部配当されている科目以外でも履修することができます。

例えば、1年次の春～夏学期で修得できなかった科目を取り直そうとする場合、他の学部・学科に配当されている同一名称の授業科目を履修することで卒業要件単位とすることができます。

ただし、再履修生にも履修制限を設ける科目も一部存在しますので、シラバスで確認してください。

② 全ての科目につき、所定の履修登録手続（KOAN登録、授業初回の出席等）を行う必要があります。

必修科目等、正規配当の履修の場合には先行して自動登録されており自身での手続が不要であった科目についても、再履修等の場合は、全ての科目において登録手続が必要となります（自動登録はされません。）。

履修上のルールは？

授業科目を選ぶにあたって、下記のルールを設けていますので留意してください。

① **重複受講の禁止**

同一授業時限に複数の授業科目を重複して履修すること、また、同一名称の科目を複数の時限で履修することはできません。

× 水1「日本国憲法」という科目を履修しつつ、同じく水1で第1外国語の再履修をする。

× 水1「日本国憲法」のほかに、木5「日本国憲法」を履修する。

## ② 修得済み科目の履修の禁止

既に単位を修得した科目について、同一名称の科目を再度履修することはできません（「積重ね科目」（P. 38 参照）を除く。）。

× 1年次の春～夏学期で「日本国憲法」という科目を履修・単位修得し、1年次の秋～冬学期で再度「日本国憲法」を履修する。

## ③ 受講定員

各授業科目にはその授業科目の性質や使用する教室等を考慮して定員が定められており、定員を超える受講希望者があった場合は、抽選のうえ受講者を決定します。定員を超えた受講は認められません。

## (2) 履修登録の流れについて

履修登録は、主にKOANを用いて行うこととなっており、具体的には以下の2つの方法に分類されます。

### 履修希望（抽選）登録

その学期に受講したい授業科目について、授業期間開始前の所定期間にて個々の学生からの希望を受け付け、登録期限後に抽選処理によって受講可否を判定します。抽選結果発表は、KOANの「履修登録・登録状況照会」画面への反映をもって行います。

### 履修追加（先着順）登録

追加で履修したい授業科目がある場合は、抽選結果発表後に、その科目が受講定員に達していなければ、所定期間内に先着順にて追加登録ができます。この期間では不要となった科目の履修削除も可能です。

なお、上記によらず先行して自動登録されているもの（登録手続不要）もありますので注意してください。また、履修登録がされているかについては、KOANの「履修登録・登録状況照会」により必ず確認してください。

### 履修取消

履修を始めてしばらくしてから、例えば、難度が高かったり、想定していたものと内容が違っていたりした場合、履修登録を「取り消す」ことによって、授業科目の履修を中止することができます。

履修取消期間（授業開始後、3週目頃）中にKOANから取消処理を行うと、学期GPA及び通算GPA（P. 17 参照）の算出から除外します。

## (3) 履修登録を行うにあたって

### 1年次春～夏学期の履修手続

下記を準備・熟読の上、学部別履修指導及び新入生履修希望（抽選）登録に備えてください。

- ・「全学共通教育科目を履修するにあたって必ずすること」（P. 2 参照）
- ・「履修案内ページの閲覧方法について」（P. 3 参照）
- ・KOAN（共通教育関連）、大阪大学CLE、無線LANマニュアル  
参考：<http://www.celas.osaka-u.ac.jp/education/support/>
- ・全学教育推進機構HP 新入生向けページ  
参考：<http://www.celas.osaka-u.ac.jp/fresher/>

### 1年次の秋～冬学期以降の履修手続

前学期終了前に学内掲示板や全学教育推進機構HP、KOAN掲示板にて指示を行います。必ず確認のうえ、忘れないように履修登録を行ってください。

## 4. 試験及び成績

授業科目の成績評価のため、原則として年次・学期ごとに筆記試験が行われます。筆記試験の代わりにレポート提出、口述試験、実習報告等によることもあります。また、科目によっては平常の成績をもって試験成績に代えることがあります。

受験等に際しては、以下の事項に留意してください。

なお、これらの事項は、原則として、中間、臨時、平常試験等にも適用されます。

### (1) 受験が認められない場合

- ① 履修登録を行っていない授業科目については、受験資格がありません。
- ② すでに単位を修得した授業科目について再度受験することはできません。

### (2) 筆記試験受験上の注意事項

- ① 試験は指定された場所（講義室等）で受験してください。
- ② 各試験室では監督教員の指示に従って着席してください。
- ③ 試験開始後20分以上の遅刻者は、原則として受験できません。
- ④ 試験開始後25分間は退室できません。
- ⑤ 一度退室した者は再び入室することができません。
- ⑥ 試験時間は、チャイム又は監督教員の指示に従ってください。
- ⑦ 受験に際しては必ず学生証を机上の左上に提示してください。
- ⑧ 学生証を携帯しない者は受験できません。万一学生証を忘れてきた場合は、前もって全学教育推進機構等事務部教務係にて仮受験票の交付を受けてください。(P. 21 参照)
- ⑨ 受験者名表が配付された場合には必ず記名してください。
- ⑩ 答案用紙は各自必ず監督教員に提出し、提出後は速やかに退室してください。  
なお、試験放棄の意志のある場合等も答案用紙は持ち帰らないでください。
- ⑪ 受験中における私語及び物品の貸借は一切禁止します。試験中に消しゴム等を机から落とした場合、自分で拾うのではなく、挙手して監督教員の指示に従ってください。
- ⑫ 参照（使用）を許可された場合を除き、筆記用具、時計、学生証以外の書籍・ノート等はカバン・袋類にしまって、机の下に置いてください。また、電子辞書、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末及びICレコーダー等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン・袋類にしまってください。身につけることは厳禁です。
- ⑬ 机の周りに持参物以外のものがあれば、監督教員に申し出てください。
- ⑭ その他の事項については監督教員の指示に従ってください。
- ⑮ 不正行為は絶対に行わないでください。不正行為を行った場合は、その学期の全学共通教育科目の成績評価がすべて無効（不合格）となります。



### (3) 不正行為と成績評価

筆記試験等(※)において不正行為を行った場合は、その学期の全学共通教育科目の成績評価がすべて無効(不合格)となります。

※筆記試験等とは期末・中間・臨時・平常試験における筆記試験、口述試験、レポート提出、実習報告、作品提出などで、授業担当者が成績評価の対象とするすべてのものを指します。

筆記試験、口述試験において、他人の答案やカンニングペーパーなどを見るカンニング、あるいは参照(使用)を許可されていないものやスマートフォンなどの電子機器類を参照(使用)した場合は不正行為となります。また、参照(使用)を許可されていないものやスマートフォンなどの電子機器類を机の上に置いたまま、あるいは身につけていた場合や参照(使用)できる状況にある場合も不正行為とみなされることがあります。

また、レポート提出や実習報告、作品提出にあたって、公表、未公表を問わず、引用先を明記せずに、他人の論文、著作、レポート、ウェブサイト、インターネット投稿、講義配付物の一部又は全部を剽窃(コピー&ペーストなど)した場合は不正行為となります。ただし、不注意のため引用先を明記しなかった場合を除きます。

不正行為を行った学期と無効(不合格)となる成績評価の学期

不正行為を行った学期	無効(不合格)となる成績評価の学期
春学期	春学期、夏学期及び春～夏学期の成績評価
夏学期	
春～夏学期	
秋学期	秋学期、冬学期及び秋～冬学期の成績評価
冬学期	
秋～冬学期	

筆記試験等における不正行為については厳格に対処します。

不正行為によりその学期の全学共通教育科目すべての成績が無効(不合格)になると、学期GPAや通算GPAのみならず、進級や卒業などのその後の学業に多大の影響を及ぼします。

上記に留意のうえ試験等に臨んでください。

#### (4) 追試験

病気その他やむを得ない事由によって試験の一部ないし全部を受験できない（もしくはできなかった）場合は、速やかに欠席の手続きを行ってください（P. 21 参照）。病気の場合は医師の診断書等、その他の場合は理由書とその証明書を添付してください。

授業担当教員が、追試験実施が妥当であると認めた場合は、追試験を行うことがあります。

#### (5) レポート提出

提出方法・場所・期間については、授業担当教員の指示に従ってください（授業中及びレポート掲示等により指示されます）。提出期間及び受付時間を超えたものは、いかなる理由があっても受け付けられません。

また、一度レポートBOXに投入されたレポートの返却・差替はできません。

（提出場所） 全学教育管理・講義A棟2階・全学教育推進機構等事務部教務係内

（提出方法） 科目ごとにレポートBOXが用意されます。提出にあたっての注意事項を読み、備え付けのレポート受付票を添付し投入してください。

#### (6) 成績

- ① 成績は履修状況と試験等の評点を総合して判定します。
- ② 成績は「S」「A」「B」「C」「F」の5段階で評価し、「S」「A」「B」「C」を合格、「F」を不合格とします。
- ③ 合格となった授業科目については所定の単位を与え、その授業科目の名称、単位数、修得年度、成績を学籍簿に記載します。一度修得した授業科目の成績は、これを取り消したり、再度履修し直して変更したりすることはできません。

#### (7) 成績結果の誤記入等に関する申立てについて

次の場合は、成績結果の誤記入等に関する申立てを行うことができます。

ただし、成績評価の理由、根拠に関する申立ては受け付けません。

- ① 成績評価が明らかに誤記入（採点ミス、登録ミス）によると思われる場合
  - ② 成績評価が明らかに試験等の結果や出席状況などから判断して誤っていると思われる場合
- （受付期間）
- ① 第1次受付：成績発表の日から1週間以内（土曜・日曜・祝日を除く。）
  - ② 第2次受付：次学期の授業開始の日から2週間以内（土曜・日曜・祝日を除く。）

ただし、やむを得ない理由があると認められる場合は、上記①、②の期間以外でも受け付けます。

（申立方法）

全学教育推進機構等事務部教務係で配付する「全学共通教育科目成績結果の誤記入等に関する申立書（所定様式）」を同係に提出してください。

## (8) グレード・ポイント・アベレージ制度（以下、「GPA制度」という。）について

大阪大学では、平成26年度からGPA制度を導入しています。

GPA制度の実施は、学修の状況及び成果を示す指標としてのGPAを算出することにより、各学部において学生の学修意欲の向上及び適切な修学指導に資するとともに、教育の国際化を促進することを目的としたものです。

詳細について下記を参照してください。

参考：[https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/academic\\_reform/gpa](https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/academic_reform/gpa)

### ① GPについて

成績の評価及び各評価に与えられるGPは、以下のとおり定めています。

成績の評価	S (90点以上)	A (80点以上 90点未満)	B (70点以上 80点未満)	C (60点以上 70点未満)	F (60点未満)
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

### ② GPAについて

当該学期におけるGPA（以下「学期GPA」という。）及び全在学期間におけるGPA（以下「通算GPA」という。）があります。学期GPA及び通算GPAを算出する計算式は以下のとおりです。

（GPAの算出は、小数点第3位以下を切り捨てるものとします。）

#### 【学期GPAを算出する計算式】

$$\text{学期GPA} = \frac{\text{（当該学期に評価を受けた各授業科目で得たGP} \times \text{当該授業科目の単位数）の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計}}$$

#### 【通算GPAを算出する計算式】

$$\text{通算GPA} = \frac{\text{（各学期に評価を受けた各授業科目で得たGP} \times \text{当該授業科目の単位数）の合計の総和}}{\text{（各学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計）の総和}}$$

## (9) 大阪大学全学教育優秀賞について

大阪大学では、学部2年次学生（インターナショナルカレッジ（学部英語コース）に在籍する学生は3年次学生）を対象に全学共通教育において優秀な学業成績をあげた学生を表彰する制度を設けています。選考は全学共通教育科目の学業成績により行い、12月頃に受賞者を発表します。

詳しくは全学教育推進機構のHPをご覧ください。

参考：<http://www.celas.osaka-u.ac.jp/top-50-of-osaka-univ/>

## 5. 学習相談/サポートの体制について

「数学で分からないところがあって次に進めない」、「レポート課題が出たけれどどこから手を付ければよいのだろう」、「留学の準備は何が必要なのかな」といった勉学上の相談、学習サポートについては、附属図書館（総合図書館、生命科学図書館、理工学図書館、外国学図書館）のラーニング・コモンス内のラーニング・サポートデスクで相談できます。

ラーニング・サポートデスクでは、大学院生の「ラーニング・サポーター（LS）」に、授業で分からなかったことや、専門課程や大学院進学のこと等、様々な相談をすることができます。対面でもオンラインでも相談できます。

「ラーニング・サポーター（LS）」の所属研究科、在席している時間帯・場所、相談できる事柄については、附属図書館 Web サイトでご確認ください。

なお、全学共通教育科目の履修登録に関する事項については、全学教育推進機構等事務部教務係（全学教育管理・講義A棟2階）にお越しくください。



ラーニング・サポートデスク（大阪大学附属図書館 Web サイト）

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/ta/>

## 6. 交通機関運休等の場合の授業の取扱いについて

### (1) 気象警報発表時の取扱い

大阪府「豊中市・吹田市・茨木市・箕面市のいずれか又はこれらの市を含む地域」に「暴風警報」、又は「特別警報\*」が発表された場合、授業を休講とします。

なお、当該発表が授業開始後の場合は、次の時限の授業から休講とします。

\*「特別警報」については大雨、暴風、暴風雪、大雪など内容を限定せず、すべての「特別警報」を対象とします。

### (2) 公共交通機関の運休時の取扱い

災害により、通学路線のうち以下の公共交通機関のいずれかが運行の休止又は運転の見合せ（以下、「運休」という。）となった場合（一部区間の運休を含む）、当該キャンパスで開講する授業を休講とします。

- ①豊中キャンパス 阪急電車（宝塚線：大阪梅田－宝塚間）又は  
大阪モノレール（全線）
- ②吹田キャンパス 阪急電車（千里線：大阪梅田／天神橋筋六丁目－北千里間）又は  
大阪モノレール（全線）
- ③箕面キャンパス 大阪メトロ（御堂筋線（北大阪急行路線含む）：梅田－千里中央間）又は  
大阪モノレール（全線）

ただし、事故等による一時的な運転見合せについては、休講とはしません。

### (3) 気象警報又は公共交通機関運休の解除時の取扱い

気象警報又は公共交通機関の運休が解除された場合の取扱いは次のとおりとします。

警報・運休解除時刻	授業の取扱い
午前6時以前に解除された場合	全日授業実施
午前9時以前に解除された場合	午後授業実施
午前9時を経過しても解除されない場合	全日授業休業

注1 連合小児発達学研究所については、別途当該研究所からメールにより取扱いを連絡します。

注2 解除の確認は、テレビ・ラジオ・インターネット等の報道によるものとします。

### (4) 地震発生時の取扱い

大阪府「豊中市・吹田市・茨木市・箕面市」のいずれかで震度5強以上の地震が発生した場合、その日の授業を休講とします。ただし、地震の発生が午後5時15分以降の場合は、翌日の授業も休講とします。

また、地震が当該地域以外で発生した場合又は震度5強未満の場合は、公共交通機関の運行状況に応じて対応することとし、上記2の取扱いに従うこととします。

#### (5) 災害に伴う避難勧告又は避難指示発令時の取扱い

大阪府「豊中市・吹田市・茨木市・箕面市」のいずれかの市から、災害に伴う避難勧告又は避難指示（以下「避難勧告等」という。）が発令された地域（以下「避難地域」という。）に所在する部局においては、授業を休講とする場合があるので、部局からの連絡に従ってください。

#### (6) その他

- ① この取扱いに該当しないため授業を実施する場合であっても、学生の皆さんの居住地又は通学経路にある地域で、上記1と同様の気象警報が発表された場合、上記4と同様の地震が発生した場合、上記2以外の公共交通機関が運休した場合等やむを得ない事情により授業を欠席した場合は、履修上不利益とならないよう配慮しますので、授業開講部局又は所属部局の教務担当係に申し出てください。
- ② 気象警報の発表、公共交通機関の運休又は避難勧告等の発令が事前に予想される場合、又は緊急に休講措置の必要が生じた場合は、大学ホームページ又はKOANにおいて通知します。

- ・メディア授業（定期試験を含む。以下同じ。）については、この取扱いを適用せず、気象警報の発表時等においても原則として授業を実施します。
- ・ただし、メディア授業の実施が困難な事象が発生した場合は、授業開講部局の判断により休講とすることがあります。その場合は、KOAN等でお知らせします。
- ・学生の皆さんの居住地又は通学経路にある地域に暴風警報又は特別警報が発表された場合、震度5強以上の地震が発生した場合において、避難又はその準備をしなければならない等やむを得ない事情により、メディア授業を受講できない場合には、履修上不利益とならないよう配慮しますので、授業開講部局又は所属部局の教務担当係に申し出てください。

## 7. 学生の諸手続について

(1) 届と願：学生の諸手続には大別して次の2種類があります。

- ① 届……………所定の用紙（または形式）に記入して提出すれば完結するもの。
  - ② 願……………単に提出するだけでなく、必ず許可を受けなければならないもの。
- 下記事項について十分留意のうえ、手続は確実に行ってください。

(2) 修学等に関すること：全学教育推進機構等事務部教務係

[窓口業務時間 8：30～16：30（休憩時間 11：35～12：20）]

または、所属学部 of 教務担当係等（※詳細は下表のとおり。）

事項	手続窓口等	摘要
授業・試験欠席届	全学教育 推進機構等 事務部教務係	学校感染症や忌引き等で欠席した場合、 <b>事後に</b> 届け出てください。詳細は次項（3）で確認してください。
仮受験票		全学共通教育科目の試験時に学生証を忘れてきた場合。
通学定期乗車券 発行控		定期券は学生証と通学定期乗車券発行控で購入できますが、特別に交通機関への証明書が必要な場合はその都度願い出てください。  ※2年次の秋学期以降の通学に関する証明書は所属学部の教務担当係に願い出てください。
改姓（改名）届 休学願 復学願 退学願 等	所属学部 教務担当係	各書類には提出期限が設けられています。所属学部から配布されている案内等にてご確認ください。
住所／保護者／ 保護者住所 変更	KOAN	変更後速やかにKOANに登録してください。
学生証（再発行）	学生センター	学生証を紛失・破損した場合、学生センターで再発行します。
在学証明書 成績証明書 等	証明書 自動発行機	証明書自動発行機によって発行します。 詳細は次頁（4）で確認してください。

### (3) 「授業・試験欠席届」について

全学共通教育科目を欠席した場合において、全学教育推進機構等事務部教務係窓口で授業・試験欠席届を記入することができる事由は下表のとおりです。これらの事由においては、授業担当教員は学生が履修上不利益とならないよう配慮を行うものとして全学教育推進機構及びマルチリンガル教育センターにおいて定められています（ただし、配慮内容は授業担当教員にて個別に検討されます。）。

原則として事後の手続きとなっています。

欠席事由	配慮を要する期間	必要書類
学校感染症（学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症）を罹患したことにより出席停止の措置を受けた場合	学校保健安全法施行規則第19条に規定する <u>出席停止</u> の期間	診断書 等 「病名」、「出席停止期間」が特定できるもの
親族（3親等以内）が死亡した場合	通夜、葬儀などのために要した日数 ・配偶者、1親等 連続7日以内 ・2、3親等 連続3日以内	死亡診断書、 会葬礼状 等
「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」に基づく裁判員の選任手続きのため及び裁判員の職務に従事するため裁判所に出頭した場合	裁判所に出頭した日	裁判所からの呼出状 等
居住地及び通学経路に係る特別警報の発令された場合	特別警報が発令された日	不要

（備考）全学教育推進機構等事務部教務係での手続きを必ずしも要しないもの

- ・学校感染症以外の疾病・負傷等のその他やむを得ない事由

授業担当教員に、診断書等の証明書類を提示の上で直接事情を説明し、判断を仰いでください。

ただし、課外活動による欠席は原則として履修上不利益とならないよう配慮すべき事由には該当しないものとします。

- ・教職課程に係る「教育・養護実習」及び「介護等の体験」

実習・体験申込者に配付される専用様式を使用してください。配付時期等は、教育・学生支援部教育企画課学務係（gakute-stu@ml.office.osaka-u.ac.jp）に問い合わせてください。

なお、全学教育推進機構等事務部教務係での手続きとはなりません。本事由については、授業担当教員は学生が履修上不利益とならないよう配慮を行うこととして全学教育推進機構及びマルチリンガル教育センターにおいて定められています。



#### (4) 証明書自動発行機に関すること

設置場所	利用時間	発行書類
全学教育推進機構管理・講義 A棟2階教務係前	8時30分～17時	・学割証(1人1日3枚、年間10枚まで) ・在学証明書 ・成績証明書 ・卒業見込証明書(最終学年次の学生のみ) ・健康診断証明書
豊中学生センター (学生交流棟2階ホール)	8時30分～17時	
吹田学生センター (ICホール1階)		
医学部医学科共通棟1階玄関	8時30分～17時	
工学部管理棟U1M棟1階 教務課横	9時～17時	
言語文化研究科・外国語学部 研究・講義棟A棟1階南側玄関	8時30分～17時	

※証明書自動発行機は月～金曜日(祝日、年末・年始、夏季休業日の指定日を除く。)に利用できます。

参考：<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/steps/testifier.html>

※健康診断証明書は個人によって証明書自動発行機から出力されない場合があります。その場合、詳しくは各キャンパスのキャンパスライフ健康支援センターにお問い合わせください。

※上記以外の証明書の発行については、所属学部の教務担当窓口にお問い合わせください。

#### (5) 自転車通学(駐輪場)に関すること

自転車通学をする場合は指定された場所に駐輪し、構内での移動の手段としないでください。

指定場所以外に止められた自転車、放置された自転車は強制的に撤去する場合があります。

また、阪大坂は自転車の通行が禁止されていますので、ご注意ください。

#### (6) 身体障がい等に関すること

身体障がいまたは疾病・負傷等により徒歩による通学・階段の昇降が困難な者で、自動車通学(車両入構)を希望する者は、所属学部の教務係に申し出て所定の手続をしてください。

#### (7) その他、学生生活に関すること

日本学生支援機構や地方公共団体等の奨学金、授業料免除の詳細、授業料の支払いに関すること、学割証や学生教育研究災害傷害保険の詳細は、大阪大学のホームページ(ホーム → キャンパスライフ → 大阪大学取扱説明書(学生生活の手引))にて情報提供しています。下記を参照してください。

参考：<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/manual>

# 付録1 全学共通教育科目に係る卒業要件単位数一覧表

(教養教育系科目、専門教育系科目)

科目 カテゴリー	学部	学科・専攻等	教養教育系科目								専門教育系 科目	合計		
			学問への扉	アドヴァン スト・セミ ナー	基盤教養教育科目				高度教養 教育科目	情報教育 科目			健康・ スポーツ 教育科目	専門基礎 教育科目
					人文科学系	社会科学系	自然科学系	総合型						
	文学部		2	*	6				*	2	2	0	12	
	人間科学部		2	*	6					2	2	6	18	
	外国語学部		2	要件外	6					2	2	0	12	
	法学部		2	*	10					2	2	0	16	
	経済学部		2	*	10					2	2	4	20	
	医学部医学科		2	要件外	2	2	4	2	2	2	2	18	36	
	医学部保健学科	看護学専攻	2	要件外	6				2	2	2	13	27	
		放射線技術科学専攻	2		6				2	2	2	16	30	
		検査技術科学専攻	2		6				2	2	2	18	32	
	歯学部		2	要件外	10 (「人文科学系科目」及び「社会科学系科目」からそれぞれ2単位 以上を履修し、計10単位を修得すること。)				2	2	2	20	38	
	薬学部		2	要件外	6				2	2	2	18	32	
	理学部	数学科	2	*	6 (ただし「自然科学系」科目は、 卒業要件外とする)				*	2	2	25	37	
		物理学科	2		6 (ただし「自然科学系」科目は、 卒業要件外とする)					2	2	25	37	
		化学科	2		6 (ただし「自然科学系」科目は、 卒業要件外とする)					2	2	25	37	
		生物科学科	2		6 (ただし「自然科学系」科目は、 卒業要件外とする)					2	2	24	36	
	基礎工学部	電子物理科学科	2	要件外	6				*	2	2	23	35	
		化学応用科学科	2		6					2	2	20	32	
		システム科学科	2		6					2	2	22	34	
		情報科学科	2		6					2	2	18	30	
	工学部	応用自然科学科	2	要件外	4				*	2	2	24	34	
		応用理工学科	2		4					2	2	26	36	
		電子情報工学科	2		4					2	2	20	30	
		環境・エネルギー工学科	2		4					2	2	26	36	
		地球総合工学科	2		4					2	2	26	36	

(次ページに続く)

\*アドヴァンスト・セミナーの修得単位の取り扱いは、学部発行の便覧等にて確認すること。

\*高度教養教育科目の修得単位の取り扱いは、「付録3 全学共通教育科目 授業科目一覧表」該当箇所及び学部発行の便覧等にて確認すること。

## (国際性涵養教育系科目)

科目カテゴリー 学部	学科・専攻等	国際性涵養教育系科目				合計
		マルチリンガル教育科目				全学共通教育科目
		第1外国語	第2外国語	選択外国語	グローバル理解	国際性涵養教育系科目
文学部		8	4	4	8	24
人間科学部		8	4	3	4	19
外国語学部		6	—	—	—	6
法学部		8	4	—	4	16
経済学部		8	4	—	4	16
医学部医学科		8	3	—	6	17
医学部保健学科	看護学専攻	8	3	—	4	15
	放射線技術科学専攻	8	3	—	4	15
	検査技術科学専攻	8	3	—	4	15
歯学部		8	3	—	6	17
薬学部		8	3	—	6	17
理学部	数学科	8	3	—	2	13
	物理学科	8	3	—	2	13
	化学科	8	3	—	2	13
	生物科学科	8	3	—	2	13
基礎工学部	電子物理科学科	8	3	—	2	13
	化学応用科学科	8	3	—	2	13
	システム科学科	8	3	—	2	13
	情報科学科	8	3	—	2	13
工学部	応用自然科学科	8	3	—	4	15
	応用理工学科	8	3	—	4	15
	電子情報工学科	8	3	—	4	15
	環境・エネルギー工学科	8	3	—	4	15
	地球総合工学科	8	3	—	4	15

付録2 全学共通教育科目 履修登録方法一覧表

教養教育系科目・専門教育系科目（専門基礎教育科目）履修登録方法

分類	科目区分	正規相当の場合		再履修等（正規相当の学期以降で履修すること）の場合	
		履修手続	説明	履修手続	説明
教養教育系科目	学問への扉	KOAN	・抽選登録を行ってください。失念した場合は、自動的にクラスの必修科目です。 ・「学問への扉」は1年次春～夏学期の必修科目です。	KOAN	・抽選登録又は先着順登録を行ってください。
	アドヴァンスト・セミナー 基礎教養教育科目	KOAN	・抽選登録又は先着順登録を行ってください。 ※医、歯、薬、獣、医、保（看）1年次の必修科目については、自動登録されます。	KOAN	・抽選登録又は先着順登録を行ってください。
	高度教養教育科目	KOAN	・2年次秋学期以降に履修する授業科目です。（1年生は受講できません。） ・抽選登録又は先着順登録を行ってください。 ※医、歯、薬、3年次の必修科目については、自動登録されます。	KOAN	・抽選登録又は先着順登録を行ってください。
	情報教育科目	不要	必修科目ですので、自動登録されます。	KOAN	・先着順登録を行ってください。 ・受講対象を限定しているため、再履修でも受講できない授業科目があります。
専門教育系科目	健康・スポーツ教育科目	KOAN	・新入生は、全学教育推進機構HP新入生向けページ掲載の「学部別履修コース概要」を確認の上、抽選登録を行ってください。失念した場合は、自動的にクラスが決定されます。	KOAN	・再履修生が履修できる曜日時間は、別途全学教育推進機構HP等で周知します ので、確認の上、先着順登録を行ってください。
	専門基礎教育科目（必修）	不要	・原則として、自動登録されます。	KOAN (例外有)	・抽選登録又は先着順登録を行ってください。 ・実務科目の中には、先着順登録はKOANによらない科目もあります。 詳細は別途掲示等にて周知します。
専門教育系科目	専門基礎教育科目 (選択必修)・(選択)	KOAN	・抽選登録又は先着順登録を行ってください。 ・学科や学籍番号で指定されている場合は、該当クラスを登録してください。 ※各学部の取扱いによって、必修ではないが先行して履修登録されている科目も あります。	KOAN (例外有)	・抽選登録又は先着順登録を行ってください。 ・実務科目の中には、先着順登録はKOANによらない科目もあります。 詳細は別途掲示等にて周知します。

（留意事項）

- ・上記は令和3年4月現在の履修手続を示しています。変更する可能性もありますので、各学期前に掲示される履修手続案内を必ず確認してください。
- ・抽選結果発表段階でその授業科目の履修者数が定員に達し、以後の先着順登録期間では追加登録が困難となる場合もあります。再履修等で、希望する曜日時間に開講するクラスがすべて追加登録できない場合がありますので、必ず履修希望（抽選）登録段階から履修手続を行ってください。



### 付録3 全学共通教育科目 授業科目一覧表

本表は、全学共通教育科目が学部・学科・専攻等にどのように配当されているかを科目区分ごとにまとめたものです。

科目表中、各科目に付されている表中の記号は、次のとおりです。

◎	必修科目	必ず履修するように指定された科目
※	選択必修科目	各区分ごとに付された条件に従い、選択して履修する科目
○	選択科目	各区分ごとに選択して履修する科目
*	特殊な取り扱いがある科目	学部によって特殊な取り扱いがある科目です。詳細は付録4「学部毎 特定の科目に係る履修上の定め」にて取り扱いを確認してください。
空欄灰色	卒業要件に算入されない科目	

必要単位数を超えて修得した単位については、所属学部において卒業要件の単位として算入できる場合があります。詳細は、各学部発行の便覧等で確認してください。

#### 1. 学問への扉

授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基	工
学問への扉	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
<b>学問への扉 必要単位数</b>		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

#### 2. 基盤教養教育科目（人文）

区分	授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基	工
人文	世界の思想	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	哲学の基礎 A	2	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○
	哲学の基礎 B	2	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○
	倫理学の基礎	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国哲学基礎	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	インド学の基礎	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	文芸学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	音楽学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	演劇学	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	東洋美術史	2	*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	西洋美術史	2	*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	芸術の実践	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	芸術の場所	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	芸術の世界	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	芸術の歴史	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本文学研究入門	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本文学の名作を読む	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本の文学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本の文学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本の文学 C	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

2. 基盤教養教育科目（続き：人文）

区分	授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基	工
人文	日本の文学 D	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本の文学 E	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	比較文学入門	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語圏の文学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語圏の文学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国古典入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国の文学	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英米文学入門	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ドイツの文化・芸術	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フランス文学入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	外国の文学を知る	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	西洋の文学	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教養としての日本語	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本語学基礎	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国語学の世界	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国語学入門	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語学の基礎 A	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語学の基礎 B	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語学の基礎 C	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	世界史の考え方	2	*	*	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○
	歴史学の考え方	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本史の考え方	2	○	*	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○
	日本史の話題	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アジア史学基礎 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アジア史学基礎 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	西洋史学基礎 A	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	西洋史学基礎 B	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	考古学基礎	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本学基礎	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マイノリティを読む	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代の差別を考える	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本学の最前線	2	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ことばの学問入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アジアの文化と社会を知る A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
アジアの文化と社会を知る B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
アジアの文化と社会を知る C	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
アジアの文化と社会を知る D	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

2. 基盤教養教育科目（続き：人文）

区分	授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基	工
人文	アジアの文化と社会を知る E	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アジアの文化と社会を知る F	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アジアの文化と社会を知る G	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アジアの文化と社会を知る H	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アジアの文化と社会を知る I	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アジア言語文化研究入門 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アジア言語文化研究入門 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アフリカの文化と社会を知る	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アフリカ言語文化研究入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ユーラシアの文化と社会を知る A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ユーラシアの文化と社会を知る B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	欧米の政治・経済事情	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	欧米の文化と社会を知る A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	欧米の文化と社会を知る B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	欧米の文化と社会を知る C	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	欧米の文化と社会を知る D	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	欧米の文化と社会を知る E	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	欧米の文化と社会を知る F	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	欧米の文化と社会を知る G	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	欧米言語文化研究入門 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	欧米言語文化研究入門 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中東の文化と社会を知る A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中東の文化と社会を知る B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中東の文化と社会を知る C	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中東言語文化研究入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	言語社会研究入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本語・日本文化を考える A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本語・日本文化を考える B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本語・日本文化を考える C	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本語・日本文化を考える D	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本語・日本文化を考える E	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人間学の考え方	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人間学の話題	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ちがいをたのしむ	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人文知・科学技術と社会との対話	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Cross Cultural Psychology	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
基盤教養教育科目（人文） 必要単位数			-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-



2. 基盤教養教育科目（社会）

区分	授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保 (看)	医保 (放・ 検)	歯	薬	理	基	工
社会	行動学の考え方	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	心理・行動科学入門	2	*	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○
	感情・人格心理学	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	行動学の話題	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	心理学基礎実験	2	○		○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○
	社会学の考え方	2	*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会思想史	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代文化論	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代社会を読み解く	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代社会論	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会科学のための確率統計	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会学の話題	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アジアの途上国における開発と協力	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ジェンダーと社会	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	法学の話題	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本国憲法	2	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	法の世界	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	法学の考え方	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国際社会の法を考える	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	知的財産モラル	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	政治学の話題	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	政治の世界	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国際社会における法と政治	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代の法と政治を考える	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マクロ経済学の考え方	2	*	○	○		◎	○	○	○	○	○	○	○	○
	ミクロ経済学の考え方	2	○	○	○		◎	○	○	○	○	○	○	○	○
	経済の世界	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	経済現象を読み解く	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平和の問題を考える	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Japan in the World	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
Introduction to Social Psychology	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
Politics in Post-War Japan	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
Media Sociology	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
基盤教養教育科目（社会） 必要単位数			—	—	—	—	—	2	—	—	2	—	—	—	—

## 2. 基盤教養教育科目（自然）

区分	授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基	工
自然	現代数学の基礎	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	数学の考え方	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	現代物理学の基礎	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	物理学の考え方	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	宇宙地球科学の考え方	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	化学の考え方	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	化学の話題	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	グラフィックスの世界	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	グラフィックスの基礎	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	生命機能学の基礎	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	現代生命科学の基礎	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	生物学を考える	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	生命科学の世界	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	認知脳科学への誘い	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	環境科学の基礎	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	口の健康科学	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	健康・医療イノベーション学	2	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○		○	○
	健康・医療の基礎	2	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○		○	○
	健康科学の考え方	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
人の老化を考える	2	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	
基盤教養教育科目（自然） 必要単位数		—	—	—	—	—	—	4	—	4	—	—	—	—

## 2. 基盤教養教育科目（総合）

区分	授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基	工
総合	現代文化を読み解く	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	思考の世界	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	哲学の考え方	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人文地理学の考え方	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人文地理学の話題	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遊牧民の文化と社会を知る	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代差別論	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	課題から考える知と社会のコミュニケーションデザイン	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	科学技術の問題を考える	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代日本の教育問題	2	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	共生学の話題	2	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代人権論	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コンピュータアルゴリズム入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コンピュータシステムの原理	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. 基盤教養教育科目（続き：総合）

区分	授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基	工
総合	計算機シミュレーション入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	情報探索入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代の脳科学	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代のスポーツサイエンス	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代の医療と生命を考える	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代社会における健康科学の考え方	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	心とメンタルヘルス	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代の環境を考える	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	世界は今	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	世界の事情を英語で学ぶ	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Basic Learning Skills 1	2	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	Basic Learning Skills 2	2	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	文理融合に向けた数理科学 I	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	文理融合に向けた数理科学 II	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	数値シミュレーションの基礎	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	数理モデリングの基礎	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工学への数値シミュレーション	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	科学・技術と情報の最前線	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	データ科学のための数理	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	データ解析の実際	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	データ科学による課題解決入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工学と現代数学の接点	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病気のバイオサイエンス I	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病気のバイオサイエンス II	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	今、がんは	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	大阪大学の歴史	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	関西は今	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	女性リーダーとの対話	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	知性への誘い	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	震災の知・復興の知	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	インド仏教史概説	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	経済学のための数理 I	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	経済学のための数理 II	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金融・保険のためのデータサイエンス	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
機械学習入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高度情報リテラシー	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
データ科学入門 I	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

## 2. 基盤教養教育科目（続き：総合）

区分	授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基	工
総合	データ科学入門 II	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	データ科学入門 III	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	データ科学入門 IV	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Frontier Lectures from University of California I	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	福島での環境放射線実習	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代キャリアデザイン論 I	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	放射線の自然科学、社会学、人文学	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	試して学ぶ物理学入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	数理科学の応用	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	機械学習続論	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	共生社会とアクセシビリティを考える	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	数理モデリングの実習	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	データサイエンスの基礎 I	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	データサイエンスの基礎 II	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ライフサイエンスへの道	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	実践的危機管理入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	数理・データサイエンス・AI活用PBL	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	情報と社会	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	データ・AIエンジニアリング基礎	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	データサイエンスのためのプログラミング入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ビジネス数理基礎	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
文化計量学入門	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Introduction to Sociology	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
基盤教養教育科目（総合） 必要単位数		—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
<b>基盤教養教育科目（全体） 必要単位数合計</b>		<b>6</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>6</b>	<b>10</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>4</b>

## 3. 高度教養教育科目

高度教養教育科目は、下記に例示する全学共通教育科目のほか、各学部からも開講されています。必要単位数は各学部発行の便覧等にて確認してください。

ただし、医学部・歯学部・薬学部においては全学共通教育科目にて必修科目が開講されており、当該科目の修得により卒業に必要な単位数を満たすことができます。

授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基	工
科学的思考のための化学実験	1	○	○	○	○	○							
現代の生命倫理・法・経済を考える	2						◎	◎	◎	◎			
アドヴァンスト情報リテラシー	2		○	○	○	○				○	○	*	○
データ科学（機械学習）	2	○	○	○	○	○				○	○	*	○
データ科学と意思決定	2	○	○	○	○	○				○	○	*	○
現代キャリアデザイン論II	2	○	○	○	○	○				○	○	*	○
全学共通教育科目に係る 高度教養教育科目 必要単位数		—	—	—	—	—	2	2	2	2	—	—	—

#### 4. 情報教育科目

授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保 (看)	医保 (放・ 検)	歯	薬	理	基	工
情報社会基礎	2	◎	◎	◎	◎	◎		◎						
情報科学基礎	2						◎		◎	◎	◎	◎	◎	
情報科学基礎 A	2													◎(然)
情報科学基礎 B	2													◎(理)
情報科学基礎 C	2													◎(電)
情報科学基礎 D-I	2													◎(地-船)
情報科学基礎 D-II	2													◎(地-社)
情報科学基礎 D-III	2													◎(地-建)
情報科学基礎 E	2													◎(環)
<b>情報教育科目 必要単位数</b>		<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>

#### 5. 健康・スポーツ教育科目

授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基	工
スポーツ実習 A	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
スポーツ科学	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康科学実習 A	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康科学	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>健康・スポーツ教育科目 必要単位数</b>		<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>

#### 6. アドヴァンスト・セミナー

授業科目名	単位数	文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基	工	
市民のための科学コミュニケーション	2	○	○		○	○					○			
様々な科学でみられる数理と応用 (Advanced)	2	○	○		○	○					○			
「囲基」で論理的思考を養おう	2	○	○		○	○					○			
池島プロジェクト：離島から考える	2	○	○		○	○					○			
コントラクトブリッジで考える力をつけよう	2	○	○		○	○					○			
リーダーシップを考える	2	○	○			○					○			
自然の読み方	2	○	○		○	○					○			
キャンパスデザインプロジェクト	2	○	○		○	○					○			
学術的文章の作法	2	○	○		○	○					○			
経営者と学ぶイノベーション/リーダーシップ	2	○	○			○					○			
共生の人間学セミナー	2	○	○		○	○					○			
多文化コミュニケーションセミナー II	2	○	○		○	○					○			
福島県飯館村環境放射線実習	2	○	○		○	○					○			
Introduction to International Education	2	○	○		○	○					○			
映像表現入門	2	○	○		○	○					○			
アカデミック・リテラシー入門	2	○	○		○	○					○			
オン・キャンパス・インターンシップ：社会に提供 できる安心・安全・健康のサービスを創造しよう	1	○	○		○	○					○			
オン・キャンパス・インターンシップ：SDGs事業と 自らのキャリア形成	2	○	○		○	○					○			
オン・キャンパス・インターンシップ：未来の「は たらく」を考える	2	○	○		○	○					○			
平和研究入門	2	○	○		○	○					○			
<b>アドヴァンスト・セミナー 必要単位数</b>		修得単位の取り扱いについては、各学部発行の便覧等で確認してください。												





## 8. マルチリンガル教育科目

### (1) 総則

#### ① 「積重ね科目」について

全学共通教育科目においては、原則として同一名称の科目を重複して履修することはできませんが、マルチリンガル教育科目の一部には、同一名称の科目を重複して履修することができる科目があります。そうした科目を「積重ね科目」といいます（科目表中で授業科目名の背景が灰色になっており、末尾に数字（1、2、3、…）がついています。）。

これらの「積重ね科目」は、学部や科目ごとに履修できる上限数が指定されており、みなさんはその範囲内で同一名称の科目を重複して履修することができます。

「積重ね科目」は、シラバスや授業時間表等には数字を省略した授業科目名が記載されていますが、みなさんが単位を修得した順に成績管理のコンピュータ処理により自動的に数字が付番され、学籍簿には数字の付いた正式な授業科目名が記録されます。

#### ② 各学期に履修する科目について

各学期に履修する授業の組み合わせは予め決定しています。各区分の〔学期ごとに配当されている科目〕を参照してください。

この組み合わせの中で、希望する授業科目について履修希望（抽選）登録できるものもあれば、予め履修登録されているものもあります。

再履修等の場合はこれによらず、自身で履修希望（抽選）登録又は履修追加（先着順）登録が必要となります。

#### ③ 使用する教科書について

履修登録の際、すでに単位を修得した授業あるいは当該学期で履修中の授業と同じテキストを使用する授業は絶対に希望しないでください（ただし、シラバス等において、授業で扱う章、ページ数などが明記してあり、すでに単位を修得した授業あるいは当該学期で履修中の授業と異なる場合は受講が可能です。）。また、自動的に当該クラスに配当されてしまった場合は、必ず全学教育推進機構等事務部教務係まで申し出てください。なお、語学という科目の性質上、異なった科目で同じテキストを使用している場合もありますので注意してください。

#### ④ 履修上の特例措置について

英語を母語とする外国人留学生及び特別な理由のある者については、第1外国語履修に当たり特例を認める場合があります。所属学部発行の学生便覧等で確認してください。



(2) 第1外国語

区分	授業科目名	単位数	学部											備考	
			文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基		工
総合英語	総合英語 1	1	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	それぞれの科目に 「総合英語 (Project-based English)」 「総合英語 (Content-based English)」 「総合英語 (Liberal Arts & Sciences)」 「総合英語 (Performance Workshop)」 「総合英語 (Academic Skills)」 のようにサブカテゴリーを設け、多様な授業を展開する。
	総合英語 2	1	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	総合英語 3	1	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	総合英語 4	1	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	総合英語 5	1	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	総合英語 6	1	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	総合英語 I	1			◎										
	総合英語 II	1			◎										
	総合英語 III	1			◎										
	総合英語 IV	1			◎										
必修単位数 (小計)	—	6	6	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6		
実践英語	実践英語 1	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	実践英語 2	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	必修単位数 (小計)	—	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
必修単位数 (合計)		—	8	8	6	8	8	8	8	8	8	8	8		

【学期ごとに配当されている科目】

原則として、学期ごとに下記のとおり履修する科目が予め指定されています。  
再履修等の場合を除き、この配当に従って履修しなければなりません。

文法経理基工

1年次 (春～夏)		1年次 (秋～冬)		2年次 (春～夏)		2年次 (秋～冬)	
単位計	授業科目名	単位計	授業科目名	単位計	授業科目名	単位計	授業科目名
2	総合英語 総合英語	3	総合英語 総合英語 実践英語	2	総合英語 実践英語	1	総合英語

人医歯薬

1年次 (春～夏)		1年次 (秋～冬)		2年次 (春～夏)		2年次 (秋～冬)	
単位計	授業科目名	単位計	授業科目名	単位計	授業科目名	単位計	授業科目名
2	総合英語 総合英語	3	総合英語 総合英語 実践英語	3	総合英語 総合英語 実践英語		—

外

1年次 (春～夏)		1年次 (秋～冬)		2年次 (春～夏)		2年次 (秋～冬)	
単位計	授業科目名	単位計	授業科目名	単位計	授業科目名	単位計	授業科目名
2	総合英語 I 総合英語 III	3	総合英語 II 総合英語 IV 実践英語	1	実践英語		—

### (3) 第2外国語

各言語の上級クラスは、2年次（春～夏学期）から履修できます。  
 ただし、第2外国語の必要単位としては、下表の「○」を付した科目から単位修得が必要となります（上級の修得をもって初級及び中級の単位に代えることはできません。）。  
 日本語は、外国人留学生のみが履修できます。

	授業科目	単位数	学部										
			文	人	外	法	経	医	歯	薬	理	基	工
ドイツ語	ドイツ語初級Ⅰ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ドイツ語初級Ⅱ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ドイツ語中級1	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ドイツ語中級2	1	○	○		○	○						
	ドイツ語上級1	1	*	*		*	*				*		
	ドイツ語上級2	1	*	*		*	*				*		
	ドイツ語上級3	1	*	*		*	*				*		
	ドイツ語上級4	1	*	*		*	*				*		
フランス語	フランス語初級Ⅰ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	フランス語初級Ⅱ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	フランス語中級1	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	フランス語中級2	1	○	○		○	○						
	フランス語上級1	1	*	*		*	*				*		
	フランス語上級2	1	*	*		*	*				*		
	フランス語上級3	1	*	*		*	*				*		
	フランス語上級4	1	*	*		*	*				*		
ロシア語	ロシア語初級Ⅰ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ロシア語初級Ⅱ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ロシア語中級1	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	ロシア語中級2	1	○	○		○	○						
	ロシア語上級1	1	*	*		*	*				*		
	ロシア語上級2	1	*	*		*	*				*		
	ロシア語上級3	1	*	*		*	*				*		
	ロシア語上級4	1	*	*		*	*				*		
中国語	中国語初級Ⅰ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語初級Ⅱ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語中級1	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語中級2	1	○	○		○	○						
	中国語上級1	1	*	*		*	*				*		
	中国語上級2	1	*	*		*	*				*		
	中国語上級3	1	*	*		*	*				*		
	中国語上級4	1	*	*		*	*				*		

	授業科目	単位数	学部											
			文	人	外	法	経	医	歯	薬	理	基	工	
朝鮮語	朝鮮語初級Ⅰ	1	○	○										
	朝鮮語初級Ⅱ	1	○	○										
	朝鮮語中級Ⅰ	1	○	○										
	朝鮮語中級Ⅱ	1	○	○										
スペイン語	スペイン語初級Ⅰ	1	○	○										
	スペイン語初級Ⅱ	1	○	○										
	スペイン語中級Ⅰ	1	○	○										
	スペイン語中級Ⅱ	1	○	○										
イタリア語	イタリア語初級Ⅰ	1	○											
	イタリア語初級Ⅱ	1	○											
	イタリア語中級Ⅰ	1	○											
	イタリア語中級Ⅱ	1	○											
日本語	総合日本語Ⅰ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合日本語Ⅱ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合日本語Ⅲ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合日本語Ⅳ	1	○	○		○	○							
	専門日本語Ⅰ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専門日本語Ⅱ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専門日本語Ⅲ	1	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専門日本語Ⅳ	1	○	○		○	○							
必要単位数			4	4	-	4	4	3	3	3	3	3	3	

**【学期ごとに配当されている科目】**

原則として、学期ごとに下記のとおり履修する科目が予め指定されています。

再履修等の場合を除き、この配当に従って履修しなければなりません。

**第2外国語 [ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・朝鮮語・スペイン語・イタリア語]**

	1年次(春～夏)	1年次(秋～冬)	2年次(春～夏)	2年次(秋～冬)
文	○○語初級Ⅰ	○○語初級Ⅱ	○○語中級	○○語中級
人	○○語初級Ⅰ	○○語初級Ⅱ	○○語中級(注)	—
外	—			
法	○○語初級Ⅰ	○○語初級Ⅱ	○○語中級	○○語中級
経	○○語初級Ⅰ	○○語初級Ⅱ	○○語中級	○○語中級
医	○○語初級Ⅰ	○○語初級Ⅱ	○○語中級	—
歯	○○語初級Ⅰ	○○語初級Ⅱ	○○語中級	—
薬	○○語初級Ⅰ	○○語初級Ⅱ	○○語中級	—
理	○○語初級Ⅰ	○○語初級Ⅱ	○○語中級	—
基	○○語初級Ⅰ	○○語初級Ⅱ	○○語中級	—
工	○○語初級Ⅰ	○○語初級Ⅱ	○○語中級	—

(注) 人間科学部の学生は、2年次(春～夏学期)に2単位(中級を2科目)修得してください。

**第2外国語 [日本語]**

日本語を選択した外国人留学生は、原則として各年次・学期に「総合日本語」「専門日本語」のどちらかから1科目を選び、各学部で定められた必要単位数を修得してください。

(4) 選択外国語

	授業科目	単位数	学部	
			文	人
第1外国語	英語選択1	1	○	○
	英語選択2	1	○	○
	英語選択3	1	○	○
	英語選択4	1	○	*
第2外国語	ドイツ語初級Ⅰ選択	1	○	○
	ドイツ語初級Ⅱ選択	1	○	○
	ドイツ語中級選択1	1	○	○
	ドイツ語中級選択2	1	○	*
	フランス語初級Ⅰ選択	1	○	○
	フランス語初級Ⅱ選択	1	○	○
	フランス語中級選択1	1	○	○
	フランス語中級選択2	1	○	*
	ロシア語初級Ⅰ選択	1	○	○
	ロシア語初級Ⅱ選択	1	○	○
	ロシア語中級選択1	1	○	○
	ロシア語中級選択2	1	○	*
	中国語初級Ⅰ選択	1	○	○
	中国語初級Ⅱ選択	1	○	○
	中国語中級選択1	1	○	○
	中国語中級選択2	1	○	*
第3外国語	ラテン語初級Ⅰ選択	1	○	○
	ラテン語初級Ⅱ選択	1	○	○
	ラテン語中級Ⅲ選択	1	○	○
	ラテン語中級Ⅳ選択	1	○	*
	ギリシャ語初級Ⅰ選択	1	○	○
	ギリシャ語初級Ⅱ選択	1	○	○
	ギリシャ語中級Ⅲ選択	1	○	○
	ギリシャ語中級Ⅳ選択	1	○	*
必要単位数			4	3

【学期ごとに担当されている科目】

原則として、学期ごとに下記のとおり履修する科目が予め指定されています。再履修等の場合を除き、この配当に従って履修しなければなりません。

選択外国語 [英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語]

	文	人
1年次 (春～夏)	英語選択 又は ○○語初級Ⅰ選択	英語選択 又は ○○語初級Ⅰ選択
1年次 (秋～冬)	英語選択 又は ○○語初級Ⅱ選択	英語選択 又は ○○語初級Ⅱ選択
2年次 (春～夏)	英語選択 又は ○○語中級選択	英語選択 又は ○○語中級選択
2年次 (秋～冬)	英語選択 又は ○○語中級選択	—

選択外国語 [ギリシャ語、ラテン語]

	文	人
1年次 (春～夏)	○○語初級Ⅰ選択	○○語初級Ⅰ選択
1年次 (秋～冬)	○○語初級Ⅱ選択	○○語初級Ⅱ選択
2年次 (春～夏)	○○語中級Ⅲ選択	○○語中級Ⅲ選択
2年次 (秋～冬)	○○語中級Ⅳ選択	—



国際コミュニケーション演習、地域言語文化演習、多文化コミュニケーション（留学生のみ）は、学期ごとに下記のとおり履修できる単位数が指定されています。再履修等の場合を除き、原則として、この配当に従って履修しなければなりません。

学部	1年次 (春～夏)	1年次 (秋～冬)	2年次 (春～夏)	2年次 (秋～冬)	3年次以降
文	2単位	2単位	2単位	2単位	
人	2単位	2単位	(注)		
外	—				
法	2単位	2単位	(注)		
経	2単位	2単位	(注)		
医医	2単位	2単位	2単位		
医保	2単位	2単位			
歯	2単位	2単位	2単位		
薬	2単位	2単位	2単位		
理	2単位	(注)			
基	2単位				
工	2単位	2単位			

(太枠)は正規配当科目のある  
セメスターを表します

(注) 必要単位数を超えて修得した単位については、所属学部において卒業要件の単位として算入できる場合があります。詳細は、各学部発行の便覧等で確認してください。

#### (5) グローバル理解 (続き)

特別外国語演習の修得をもって、国際コミュニケーション演習（各言語）、地域言語文化演習（各言語）、多文化コミュニケーション（日本語）の単位に代えることはできません。修得した単位の取り扱いは、「付録4-1 学部毎特定の科目にかかる履修上の定め」にて確認してください。

授業科目名	単位数	学部												
		文	人	外	法	経	医医	医保	歯	薬	理	基	工	
特別外国語演習（広東語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（モンゴル語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（モンゴル語）II	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（インドネシア語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（タイ語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（ベトナム語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（ビルマ語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（ビルマ語）II	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（ヒンディー語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（ウルドゥー語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（トルコ語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（トルコ語）II	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（ハンガリー語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（デンマーク語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（デンマーク語）II	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（スウェーデン語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（スウェーデン語）II	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（ポルトガル語）I	2	*	*	*	*									
特別外国語演習（ポルトガル語）II	2	*	*	*	*									

付録4-1 学部毎 特定の科目に係る履修上の定め（専門基礎教育科目以外）

学部名	科目区分	科目名	内容		
文	基盤教養教育科目（人文）	インド学の基礎	単位修得した場合、文学部の専門教育科目として取り扱われます。		
		美学			
		文芸学			
		音楽学			
		演劇学			
		東洋美術史			
		西洋美術史			
		日本文学研究入門			
		日本文学の名作を読む			
		比較文学入門			
		英米文学入門			
		国語学入門			
		英語学の基礎A			
		英語学の基礎B			
		英語学の基礎C			
		世界史の考え方			
		西洋史学基礎A			
	西洋史学基礎B				
	日本学基礎				
	日本学の最前線				
	基盤教養教育科目（社会）	心理・行動科学入門			
		社会学の考え方			
		マクロ経済学の考え方			
	第2外国語	上級クラス 全科目		第2外国語の単位とはなりません、文学部卒業要件の単位として算入できます。文学部発行の便覧等を確認してください。	
	グローバル理解	特別外国語演習 全科目		グローバル理解の単位とはなりません、文学部卒業要件の単位として算入できます。文学部発行の便覧等を確認してください。	
	人	基盤教養教育科目（人文）		東洋美術史	単位修得した場合、人間科学部の専門教育科目の単位として取り扱われます。
				西洋美術史	
世界史の考え方					
日本史の考え方					
日本史の話題					
人間学の考え方					
人間学の話題					
基盤教養教育科目（社会）		行動学の考え方			
		感情・人格心理学			
		行動学の話題			
		社会学の考え方			
		現代社会論			
		社会学の話題			
		ジェンダーと社会			
基盤教養教育科目（総合）		法学の話題			
		政治学の話題			
		人文地理学の考え方			
	人文地理学の話題				
	共生学の話題				

学部名	科目区分	科目名	内容
人	第2外国語	第2外国語 上級クラス	第2外国語の単位とはなりませんが、人間科学部卒業要件の単位として算入できます。人間科学部発行の便覧等を確認してください。
	選択外国語	英語選択4	必要単位数を超えて修得した単位は、人間科学部卒業要件の単位として算入できます。
		ドイツ語中級選択2、フランス語中級選択2、ロシア語中級選択2、中国語中級選択2	
		ラテン語中IV選択、ギリシャ語中級IV選択	
グローバル理解	特別外国語演習 全科目	グローバル理解の単位とはなりませんが、人間科学部卒業要件の単位として算入できます。人間科学部発行の便覧等を確認してください。	
外	グローバル理解	グローバル理解 全科目	原則として特別外国語演習以外のグローバル理解を履修することはありませんが、第1外国語として英語以外の外国語の履修を許可された学生に関しては、特例として、特別外国語演習以外のグローバル理解を履修できる場合があります。また、特別外国語演習の単位を修得した場合、外国語学部の専門教育科目の単位として取り扱われます。ただし、自専攻語と同一の言語の科目は、履修できません。
法	第2外国語	第2外国語 上級クラス	第2外国語の単位とはなりませんが、法学部卒業要件の単位として算入できます。法学部発行の学生ハンドブックを確認してください。
	グローバル理解	特別外国語演習 全科目	グローバル理解の単位とはなりませんが、法学部卒業要件の単位として算入できます。法学部発行の学生ハンドブックを確認してください。
経	基盤教養教育科目(人文)	哲学の基礎A	単位修得した場合、経済学部の専門教育科目として取り扱われます。
		哲学の基礎B	
		世界史の考え方	
日本史の考え方			
第2外国語	第2外国語 上級クラス	第2外国語の単位とはなりませんが、経済学部卒業要件の単位として算入できます。経済学部発行の便覧等を確認してください。	
歯	基盤教養教育科目	—	「人文科学系科目」及び「社会科学系科目」からそれぞれ2単位以上を履修し、計10単位を修得すること。
理	第2外国語	第2外国語 上級クラス	第2外国語の単位とはなりませんが、理学部卒業要件の単位として算入できます。理学部発行の便覧等を確認してください。
基	高度教養教育科目	—	基礎工学部開講科目にて2単位修得してください。 *全学共通教育科目の高度教養教育科目を修得した場合は、高度教養教育科目の単位に算入されますが、卒業に必要な単位にはなりません。



付録 4-2 学部毎 特定の科目に係る履修上の定め（専門基礎教育科目）

学部学科	分野	科目表中記載	内容
文	統計学/図学	*	単位修得した場合、文学部の専門教育科目の単位となります。
人	数学	○	専門基礎教育科目の単位とはなりません、人間科学部卒業要件の単位として算入できます。
外	統計学、数学	*	単位修得した場合、外国語学部の専門教育科目の単位となります。
医医	統計学	※	「統計学B-I」または「統計学B-II」のいずれか1科目選択必修。
	物理学/化学	※	「基礎物理学実験」または「基礎化学実験」のいずれか1科目選択必修。
	物理学	※	『「力学入門」もしくは「力学通論」』及び『「電磁気学入門」もしくは「電磁気学通論」』の2科目選択必修。
医保(看)	化学/生物学	※	「基礎化学実験」または「基礎生物学実験」のいずれかを選択し、1科目1単位を修得すること。
医保(放)	物理学	※	『「力学入門」と「電磁気学入門」』または『「力学通論」と「電磁気学通論」』のいずれかを選択し、履修すること。
医保(検)	物理学	※	『「力学入門」と「電磁気学入門」』または『「力学通論」と「電磁気学通論」』のいずれかを選択し、履修すること。
	物理学/生物学	※	「基礎物理学実験」または「基礎生物学実験」のいずれかを選択し、1科目1単位を修得すること。
歯	統計学	※	「統計学B-I」または「統計学B-II」のいずれか1科目を選択履修し、2単位を修得すること。
	物理学	※	『「力学入門」と「電磁気学入門」』または『「力学通論」と「電磁気学通論」』のいずれかを選択履修し、2科目4単位を修得すること。
	化学	※	「基礎生化学」、「基礎有機化学」及び「化学熱力学」のうち、2科目を選択履修し、計4単位を修得すること。
薬	物理学	※	『「力学入門」または「力学通論」』及び『「電磁気学入門」または「電磁気学通論」』の2科目選択必修。
理(数)	※注1～注2の「物理選択者」、「物理非選択者」は、大阪大学入学者選抜試験（一般選抜（個別学力検査等及び大学入学共通テスト）、特別入試、総合型選抜・学校推薦型選抜）において受験した理科の科目を指す。		
	物理学	○注1	「力学通論」または「力学詳論I」の中から一つを選択科目として履修（ただし、物理非選択者は「力学入門」を選択科目として履修）。
		○注2	「電磁気学通論」または「電磁気学詳論I」の中から一つを選択科目として履修（ただし、物理非選択者は「電磁気学入門」を選択科目として履修）。
理(化)	※注3～注4の「物理選択者」、「物理非選択者」は、大阪大学入学者選抜試験（一般選抜（個別学力検査等及び大学入学共通テスト）、特別入試、総合型選抜・学校推薦型選抜）において受験した理科の科目を指す。		
	物理学	※注3	物理選択者は「力学通論」または「力学詳論I」のいずれか1科目を選択必修。物理非選択者は「力学入門」を必修。
		※注4	物理選択者は「電磁気学通論」または「電磁気学詳論I」のいずれか1科目を選択必修。物理非選択者は「電磁気学入門」を必修。
理(生)生物学コース	※注3～注4の「物理選択者」、「物理非選択者」は、大阪大学入学者選抜試験（一般選抜（個別学力検査等及び大学入学共通テスト）、特別入試、総合型選抜・学校推薦型選抜）において受験した理科の科目を指す。		
	物理学	※注3	物理選択者は「力学通論」または「力学詳論I」のいずれか1科目を選択必修。物理非選択者は「力学入門」を必修。
		※注4	物理選択者は「電磁気学通論」または「電磁気学詳論I」のいずれか1科目を選択必修。物理非選択者は「電磁気学入門」を必修。

学部学科	分野	科目表中記載	内容
理(生) 生命理学 コース	物理学		「*数」は「数学推奨科目選択希望者」を、「*物」は「物理推奨科目選択希望者」を、「*化」は「化学推奨科目選択希望者」を、「*生」は「生物推奨科目選択希望者」を指す。 ※注3～注4の「物理選択者」、「物理非選択者」は、大阪大学入学者選抜試験（一般選抜（個別学力検査等及び大学入学共通テスト）、特別入試、総合型選抜・学校推薦型選抜）において受験した理科の科目を指す。
		※注3	物理選択者は「力学通論」または「力学詳論Ⅰ」のいずれか1科目を選択必修。物理非選択者は「力学入門」を必修。
		※注4	物理選択者は「電磁気学通論」または「電磁気学詳論Ⅰ」のいずれか1科目を選択必修。物理非選択者は「電磁気学入門」を必修。
工 (応然)	生物学	※	高校生物未修者は「生物学序論」、高校生物既修者は「生物学詳論」を選択必修。
工 (環エネ)	化学	※	『「化学基礎論AⅠ」及び「化学基礎論AⅡ」』、または『「化学基礎論BⅠ」及び「化学基礎論BⅡ」』のいずれか2科目選択必修。

付録5 1年次 履修計画表

(春学期、夏学期)

	月	火	水	木	金	土
1限						
2限						
3限						
4限						
5限						
6限						

(秋学期、冬学期)

	月	火	水	木	金	土
1限						
2限						
3限						
4限						
5限						
6限						

## 付録6 1年次 春～夏学期 履修希望科目控

新入生履修希望（抽選）登録での作業時間は限られています。

事前に、余裕をもって本冊子の「3. 履修手続」、「付録1 卒業要件単位数一覧表」、「付録3 全学共通教育科目授業科目一覧表」及び全学教育推進機構HPの新入生向けページ掲載の「時間割表」「シラバス」を確認の上、希望登録を行う科目について、希望順位を決定して以下に記入し、登録作業に備えてください。

### ■ 学問への扉 【必修】

豊中開講：全員登録が必要です。

学部・学科ごとに指定された2つの曜日時限で開講されるクラスから、希望するクラスを8位（上限）まで、希望登録してください。

曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名（サブタイトル）	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名（サブタイトル）	担当教員
	1					5			
	2					6			
	3					7			
	4					8			

吹田開講：希望者のみ登録してください。

ただし、キャンパス間の移動があるため、前後の時限に豊中で開講されている科目を履修しない場合に限りです。

曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名（サブタイトル）	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名（サブタイトル）	担当教員
	1					5			
	2					6			
	3					7			
	4					8			

### ■ 健康・スポーツ教育科目 【必修】

学部・学科ごとに指定された曜日時限で開講される授業科目すべてに希望順位を登録してください。

ただし、「スポーツ実習A」は春～夏学期、もしくは秋～冬学期に必ず履修しなければなりません。

曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員
	1					5			
	2					6			
	3					7			
	4					8			

### ■ 第1外国語（総合英語） 【必修】 ※外国語学部 以外※

曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員
	1				同 左	6			
	2					7			
	3					8			
	4					9			
	5					10			

■ 第1外国語（総合英語）【必修】 ※外国語学部 以外※ （続き）

曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員
	1				同 左	6			
	2					7			
	3					8			
	4					9			
	5					10			

■ 第1外国語（総合英語Ⅰ、Ⅲ）【必修】 ※外国語学部※

一部の専攻においては、すでに上級クラスが履修登録されています。

曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員
	1					9			
	2					10			
	3					11			
	4					12			
	5					13			
	6					14			
	7					15			
	8					16			

■ グローバル理解 【外国語学部以外必修】（ドイツ語・日本語選択者のみ希望登録要）

曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員
	1				5			
	2				6			
	3				7			
	4				8			

■ 選択外国語 【文学部、人間科学部のみ必修】

曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員
	1					5			
	2					6			
	3					7			
	4					8			

○ 専門基礎教育科目（選択必修・選択）

所属学科や学籍番号末尾で履修クラスが指定されている場合があります。シラバスや登録画面の備考欄等で確認してください。

曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員
	1					1			
	1					1			
	1					1			
	1					1			
	1					1			

○ 基盤教養教育科目（選択）

必修科目（科目表で「◎」の科目）については自動登録されます。  
「人文」等の区分は、シラバス及び登録画面上開講科目名称で確認可能です。

曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員
	1					1			
	2					2			
	3					3			
曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員
	1					1			
	2					2			
	3					3			
曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員
	1					1			
	2					2			
	3					3			
曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員
	1					1			
	2					2			
	3					3			
曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員	曜日 時限	希望順位	時間割 コード	科目名	担当教員
	1					1			
	2					2			
	3					3			

下記授業科目については、受講すべきクラスが自動的に登録されます。

- ・情報教育科目
- ・第2外国語
- ・グローバル理解（ドイツ語・日本語以外）
- ・専門基礎教育科目（必修）

## 付録7 よくある質問

### Q. 大学からの連絡や掲示はどのように確認することができますか？

A. 学生の皆さんへの連絡や通知は、原則としてKOAN掲示板、全学教育推進機構掲示板または各学部等の掲示板で行われます。一度掲示したものは周知されたものとして取り扱いますので、日頃から確認するよう心がけてください。

### Q. 授業の講義室情報と場所はどうすればわかりますか？

A. 履修登録している授業科目ならばKOANの「履修登録・登録状況照会」で分かります。シラバスにも講義室情報を掲載しています（急な変更の場合、即時反映とならない場合があります）。講義室の配置は全学教育推進機構HPを確認してください。  
<http://www.celas.osaka-u.ac.jp/facilities/>

### Q. 休講や補講はどのように確認することができますか？

A. KOANの休講・補講照会や授業掲示板にて、各自で確認してください。  
※授業中のアナウンスのみの場合もありますので、聞き漏れのないようにしてください。

### Q. 授業担当の教員には、どのように連絡を取ることができますか？

A. 授業担当の教員への質問等は、原則として授業中又は授業の前後に行ってください。  
授業時間以外に連絡を取りたい場合は、次の方法があります。

- ①メール… KOAN上のシラバスでは、教員のメールアドレスを公開していることがあります。各科目のシラバス下段に記載されている「授業担当教員」欄を確認してください。
- ②電話… 各キャンパスの代表番号を通して教員の研究室に電話を掛けることができます。大阪大学ホームページ「研究者総覧」などで教員の所属学部・研究科の所在を確認し、以下の番号に電話してください。

豊中キャンパス	06-6850-6111
吹田キャンパス（医・歯）	06-6879-5111
吹田キャンパス（その他）	06-6877-5111
箕面キャンパス	072-730-5111

なお、全学教育推進機構等事務部教務係では、公開されていない教員の連絡先を開示すること、および電話・メール等による担当教員への取次ぎは行いませんので予めご了承ください。

※上記以外に、全学教育推進機構HPにQ&Aをまとめています。

<http://www.celas.osaka-u.ac.jp/students/help/faq/>



### 【全学共通教育科目に関する問い合わせ先】

全学教育推進機構等事務部教務係（管理・講義A棟2階）

窓口業務時間：平日8：30～16：30

全学共通教育科目

履修の手引